臺灣日日新報
夕刊　九月二十九日
[illegible]

長沙の敗敵を急追 皇軍株州に突入

株萍鐵道の基地攻略

【株州城内にて二十九日同盟特派員發至急報】株萍鐵道の基地であり軍事經濟の要衝をなす株州（長沙東南四十粁）目差して破竹の進撃を續けてゐたわが塘、重信、的野、花谷、石井、坂本の各部隊は二十九日午前九時三十分石井、花谷兩部隊を先頭に株州に突入目下殘敵掃蕩中

【瀏陽河畔にて二十八日發同盟特派員】瀏陽河を敵前渡河二十八日拂曉西岸地區を西南方に向つて進撃中の我が重信、的野、塘、花谷、石井、坂本の各部隊は長沙を逃れて株州に向ひつつある敗敵部隊を急追破竹の進撃を續行、粵漢線、株萍線の分岐點で[illegible]上の要衝株州城目がけて猛進撃中

けさ堂々たる入城式

【株州にて二十九日發同盟】二十八日拂曉金潭（永安南方二十粁）附近より瀏江沿岸の交通上の要地株州（長沙東南四十粁）に向け西南進撃を續行中であつた塘、重信、的野、石井、花谷、坂本各部隊は敵が長沙失陷の汚名を雪ぐべく頑強に抵抗するのを撃破しつつ同日夕刻早くも株州城に肉薄二十九日拂曉を俟つて一斉に市内に突入敗敵掃蕩の後午前十時半堂々たる入城式を擧げた

花谷各部隊は二十七日夜瀏陽河を金潭附近から渡河、二十八日更に追撃を續行、午後四時金潭南方八粁の[illegible]沖の敵に進出、頑敵と壯烈な山岳戰を展開、一方これと呼應南下中の安成、藤井、有馬各部隊は同時[illegible]市（長沙東南四十粁）に突入、斯くて瀏陽河北岸の敵一萬は完全に袋の鼠となつた

衡陽に巨彈

【〇〇基地二十八日發同盟】我が陸鷲常木、小林、松浦、[illegible]、今井、片山の[illegible]は二十八日午後[illegible]飛行基地衡陽を急襲、飛行場、格納庫、軍事施設等に巨彈の雨を降らせ敵に甚大なる損害を與へた

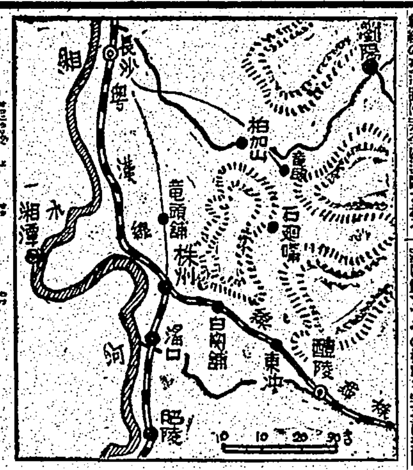
薛岳常德に落伸ぶ

【漢口二十八日發同盟】不拔と誇んだ牙城を奪はれた第九戰區司令長官薛岳は敗殘の部下を[illegible]、[illegible]河畔に棄てた憐れな護衞兵を連れ陷落二日前の二十六日頃常德方面に落ち伸びたことが判明した

第九戰區交通路 完全に遮斷さる

【株州にて廿九日同盟特派員發】株州の占領に依つて重慶第九戰區の重要軍需路粵漢鐵路及び浙贛線の交通路は完全に遮斷される路と長沙、[illegible]、株州、衡陽等の各軍事據點と連繫し來つたのであつたが今回その中樞要地株州の陷落に依つてその機能を完全に遮斷されるに至つた、南昌攻略に依つて浙贛鐵路を遮斷された第九戰區の敵は第三戰區との連絡及び浙江沿岸よりする密輸軍需物資の輸送ルートとして江西省玉山から同省吉安まで自動車路を新設し更に浙贛線西段の鐵路を利して萍鄕、瀏陽間[illegible]された譯である

株州は湖南省北部湘江沿岸にある人口約七萬の都邑で[illegible]州ともいふ粵漢、萍株兩鐵道の交叉點であると共に湘江水路の要衝であり萍鄕、安源炭礦の[illegible]以來石炭の集散地化して湘潭、長沙等と共に湖南省の[illegible]都市として重視されてゐた



瀏陽河北岸の敵 二萬袋の鼠

皇軍精鋭呼應して猛進

【〇〇前線基地二十八日發同盟】[illegible]長沙公路南側の敵第七十四軍[illegible]を追つて南方に猛進の塘、重信、[illegible]

木下、村上兩中將 拜謁仰付けらる

大陸に武勳、帝都歸還

【東京發同盟】大陸戰線に赫々の武勳を建ててこの程歸還した陸軍中將木下敏、同村上啓作兩將軍は二十九日參内、午前十時三十分表御座所に於て天皇陛下に拜謁仰付けられ、終つて御内儀に於いて皇后陛下に拜謁光榮に恐懼して御前を退下したが畏き邊りでは御前に於いて兩將軍に對し祝酒を賜ひ又御紋付銀花瓶一對並びに金一封宛を大々下賜せられ、兩將軍の勞苦を犒はせられた

粵漢線を中心に 大包圍殲滅戰展開

數萬の敗敵を皇軍包圍

【〇〇前線基地二十九日發同盟】株州突入の我が的野、花谷、重信、塘、石井、池邊各部隊は更に敗敵を猛追しつつ敵數萬を瀏陽河以南及び湘江の屈曲地帶に包圍し一大包圍殲滅戰が粵漢線を中心に華々しく展開されんとして居る

湖南・陸鷲の活躍

二萬の敵を撃滅

【〇〇飛行基地二十八日發同盟】我が陸鷲の荒鷲は二十八日拂曉より敗走の敵を求めて湖南南部に飛び各地に於いて約二萬の敵を殲滅した、即ち

一、秋山、濱野、宮田、西谷の各部隊は敗敵約三千を株州附近に發見機銃の雨を浴せてこれを殲滅した

一、中川、木下、大山の各部隊の率ゐる大編隊は午後株州の敵軍事施設を爆破すると共に敗走中の敵三千に潰滅的打撃を與へた

一、中川、森、金井の各部隊は午後株州南方十五粁の地點において南下退却中の敵四千を撲滅多大の損害を與へた

一、佐藤、中川、山田、楠原、土井の[illegible]部隊は長沙東南二十粁附近を渡河敗走中の敵四千を撲滅潰滅した

一、大坪、長谷、上山、林方、氏家、照沼、後藤、石塚の諸部隊は大擧して粵漢線淥口市南方十二粁に於いて敵部隊及び軍需品を滿載し南下中の軍用列車二十數輛を爆擊粉碎した

南支西江作戰　堂々小笠原部隊の渡河進撃

敵第三、五戰區蠢動

忽ち反撃潰滅さる

【上海二十九日發同盟】我が鄂南作戰が開始されるや狼狽した重慶軍事委員會は鄂南支援の爲め第三、第五戰區に對し攻擊命令を發し去る二十三日頃兩戰區の敵十ヶ所において襲擊を開始したので我軍は直ちに反擊を加へ二十八日までに殆ど敵を潰走せしめたが、最近兩戰區界に於ける我が攻擊に依り敵は頓に戰意を喪失してゐる模樣である、戰況左の通り

一、安慶上游彭澤西南方において敵百四十六、百四十七、百四十八の三個師に屬する約一千五百に對し反擊作戰に出でた我が松井、武宮の諸部隊は敵地深くこれを急追潰走せしめ敵遺棄死體五百六十四、捕虜二十九の戰果を收めた

二、其他の地點においては安徽省の池州、殷家匯、廬州、潛水南方及び長江方面に敵の若干が來襲したが何れも我が第一線部隊に依り潰滅された

南昌東北に殲滅戰

【南昌二十八日發同盟】わが[illegible]軍、中野、岡田、太田の各部隊は二十七日夜[illegible]第七十[illegible]の第十九師の主力約二千を[illegible]（南昌東北十五粁）の地區に追ひ込み殲滅戰を展開してゐる

陸鷲韶關を連爆

【南支〇〇基地二十八日發同盟】南支陸鷲の[illegible]、[illegible]、[illegible]、佐藤の諸部隊は二十八日午前北江沿岸（三水北方五十粁）附近に[illegible]せる敵大部隊に猛爆を加へ大損害を與へ韶關附近においても[illegible]を強襲せる約四十[illegible]貨物列車を發見必中彈を投じて[illegible]めた

貨車約三十を粉碎更に韶關市内外の軍需倉庫群を爆擊炎上せしめた、同日午後には又北島、甲斐、草刈、岸波等の諸部隊は又も大擧韶關を空襲敵陣地を始め倉庫群、交通路等の軍事施設を[illegible]文字通りの廢墟と化せしめた

今期米作五分增

局部長會議　殖產局長代理報告

定例局部長會議は二十九日午前十一時より長官公室に開催、殖產局長代理[illegible]より今期の米作[illegible]に關し日照り病蟲害に依り若干の[illegible]あるも[illegible]平年作より五分增の良好な成績にあり病蟲害其他に關しては目下各州廳において夫々適當な方法を講じつつある旨の報告あり、次で木原專賣局長より[illegible]、[illegible]部長、須田企劃部長より[illegible]協力方につき[illegible]最後に中嶋[illegible]より十七年度豫算[illegible]に就いて詳細な説明を行ひ之に對する各局部の協力方を語つて午後一時近く閉會した

大藏省令公布

【東京發同盟】大藏省では臺灣に於ける輸送力の調整並びに地方における物資の需要の變化に順應して煙草の配給事業の[illegible]を圖るため今回臺灣地方專賣局出張所等の[illegible]を行ふ事になり、

一、地方專賣局出張所の設置

一、地方專賣局煙草販賣所の廢止

一、地方專賣局出張所の廢止

をなす事になり右に伴ふ大藏省令を三十日附を以て公布十月一日より施行する事になつた

重慶、梁山、恩施等に 陸隼部隊低空攻擊

【〇〇基地二十九日午前十時發表】軍報道部二十九日午前十時發表―二十八日森田部隊長の率ゐる戰鬪機部隊は敵首都重慶並びに梁山、芷江、恩施に對し低空攻擊を敢行せり

戰鬪機隊思ふ儘に 重慶の上空を制壓

【〇〇基地二十九日發同盟】森田部隊長の率ゐる戰鬪機部隊は二十八日絶好の秋晴を利用して〇〇基地を進發、同午後三時三十分頃敵首都重慶上空に突入、果敢なる低空飛行を以て同市郊外白市驛飛行場を急襲したが同飛行場には[illegible]三機あるのみで全く敵影なく防空砲火も今は殆ど力なく我が荒鷲は重慶上空を思ふままに制壓機首を轉じて梁山、芷江、恩施を相次いで攻擊悠々全機〇〇基地に歸還した

海軍部隊水路進撃

南支陸軍新作戰に則應

【廣東二十九日發同盟】南支艦隊報道部九月二十九日正午發表―陸軍部隊の台山縣方面作戰に協力し西江の[illegible]部隊に[illegible]遡江中の敵[illegible]など[illegible]戰果を擧げたる海軍部隊は廿九日以降陸軍の新企圖に呼應するための兵力轉進に則應、新作戰に向け水路進撃を開始せり

英米の使節團 モスクワ到着

【モスクワ二十八日發同盟】モスクワに於ける英米ソ會談に特派されたハリマン團長以下の米使節團及びビーヴァブルック軍需相以下の英使節團一行は二十八日ヴイシンスキー外務人民委員部次長、ウーマンスキー駐米ソ聯大使、クリップス英大使、スタインハルト米大使其の他政府官多數の出迎へを受け盛大なる歡迎裡にモスクワに到着した、ハリマン、ビーヴァブルック兩使節團長は[illegible]直ちにスターリン書記長を訪問、三國會談ソ聯側代表たるモロトフ外務人民委員及びリトヴイノフ前外務人民委員を交へて重要協議を行つた

日獨伊三國條約締結一周年（中）

萬邦各々所を得しむ

高邁なる平和の盟約

三國條約の萌芽

支那事變勃發直後の昭和十二年十一月六日、獨伊兩國は進んで日本との間に「日獨伊防共協定」を締結した、當時は米國は日本の行動を九國條約及び不戰條約の違反だと聲明し聯盟總會は反日決議案を可決し又日本をとつちめるための九國條約國の會議が開催されたりして歐洲列強の對日態度は反日の一色に塗り潰されたかの觀を呈してゐた、この世界的反日の風潮に抗して獨伊が日本との間に結んだこの國際協定は聖戰完遂に邁進するわが國民にとつては何よりも力強い支援であつた、三國條約の萌芽は既にこの時に兆してゐたのである、獨伊兩國との友好關係は爾來引續いて維持され特にドイツとの間は駐支ドイツ大使トラウトマン氏が南京陷落を前に蔣介石に對し對日和平を勸告、又昭和十三年十一月二十五日には日獨文化協定が成立する等特に敦睦を加ふるものがあつた、斯くて三國關係を百尺竿頭更に一歩を進めてより緊密なる關係に導くべきことは日を逐うて三國間の重要な課題となるに至つた、然しながら歐洲情勢の變轉するテンポは東亞のそれに比して著しく急激であつたため翌十四年五月二十二日には帝國の加盟を待たず獨伊兩國間に軍事同盟の成立を見た、ここに於て帝國の去就についても當時の平沼内閣は血の滲むやうな苦慮を重ねたが突如として同年八月二十三日に至り獨ソ兩國間に不侵略條約が成立したため[illegible]を決する能はず遂に「複雜怪奇」の一語を殘して時局收拾の大任を阿部内閣に譲つて退陣した、阿部内閣は外相に米國に知己の多い野村吉三郎大將を迎へ對米國交打開に腐心したが米國の[illegible]を醒さす所か却つて增長せしむるの結果を招いたのである

條約調印前の事情

短命僅に四個月餘で挂冠の已むなきに至つて阿部内閣の後を繼いだ米内内閣も亦努めて英米を刺戟することを避け、事變處理に邁進せんとしたが大戰の勃發に對する米國の無理解は解き得べくもなかつた、ここにおいて聖戰の最高理想と目差してゐる大東亞新秩序とは如何なるものであるか、又この理想達成のためには日本は如何なる決意を有してゐるかを具體的に示さざるを得ない時期に立ち至つた、三國條約締結は斯くて第二次近衞内閣の組閣早々その重要國策として銓議されることとなつた、即ち第二次近衞内閣が成立したのは昨年の七月二十二日であるが、組閣後旬日を出でない八月一日には三國條約に關する政府の根本方針を早くも決定したのである、やがて獨伊との間に折衝が進められ、リッベントロップ獨外相が來られぬと言ふので同外相に信頼の厚いスターマー公使が代つて派遣されることとなつた、スターマー公使が東京に到着したのは九月七日の朝で翌[illegible]九日午前松岡前外相とスターマー公使の間に二時間の會談でこの歴史的條約の大綱がすらすらと決められたのは一エピソードとして史實に殘さるべきであらう、出來上つた草案に最後の仕上げを行ふために約二週間を要した

條約の核心

斯くて九月二十七日に至り日獨伊同盟に關する條約の成立を見たが締結に當つては畏くも優渥なる詔書が渙發せられ帝國民心の向ふべき所を明示された、三國條約は先づその前文において

萬邦をして各々その所を得しむるを以て恒久平和の先決要件なりと認めたるにより大東亞及び歐洲の地域において各々その地域における當該民族の共存共榮の實を擧ぐるに足るべき新秩序を建設し且つこれを維持せんことを根本義と爲し右地域においてこの趣旨に依れる努力につき相互に提携し且つ協力することに決意せり

と述べて締結の意義を明かにしてゐる、更に條約本文の第一條及び第二條においては帝國の大東亞新秩序建設に關する指導的地位を獨伊兩國が相互に認めてゐるが右の前文及び二個條は三國條約の根本精神即ち日獨伊三國が協力して世界の各民族をして各々その所を得しむる新秩序を作り、公正な基礎の上に立つ永續的な平和を招來することを目的としてゐることを明瞭にしてゐる點でこの條約の核心をなすもので、三國條約はこれによつて帝國が歐洲戰爭に參加するとか或ひは獨伊以外の列強を直ちに敵に廻すと云ふやうなものでないことは贅言を要せぬ

第三條の性質

三國條約は要するに平和の盟約であつて、歐洲戰爭又は支那事變に參加してゐない國が日獨伊三國何れをも進んで攻擊することなく又列國が帝國の大東亞共榮圈建設の企圖を妨礙しないならば帝國は敢然彼等と親善し共に大東亞の興隆を分たんとするものであることを率直に披瀝してゐるのである、條約第三條において「三締約國中何れかの一國が現に歐洲戰爭又は日支紛爭に參入し居らざる一國によつて攻擊せられたる時は三國はあらゆる政治的、經濟的及び軍事的方法により相互に援助すべきことを約す」と規定されてゐるのも、要するに何れかの國が新たに支那事變又は歐洲戰爭に參入して世界の混亂がこれ以上に擴大することを防がんとする防禦的、消極的意圖に出でたものと解すべきであらう、從つて三國條約は何れの特定國をも目標としてゐるものではなく況んや米國、想定して作られたものではない、然しながら松岡前外相が昨年の十月八日のチャーチル英國首相演説に關聯して

本條約の締約國は總ての中立國殊に米國の如き強大なる國家が歐洲戰爭又は支那事變に捲き込まれることなきを欲するものである、若し米國民が捲き込まれるやうなことがあればそれこそ人類の一大凶變でその參加は[illegible]へるだに戰慄を禁じ得ないものがある

と語つたやうに、結果から見て[illegible]作にして米國が三國條約の文面に引出される場合のあるいは[illegible]國の占める國際上の地位から見て[illegible]むを得ない所であらう

人事

▲山本莊氏（理化學研究所理事）二十八日南部より來北（吾妻）

▲柳澤秀雄氏（日糖常務、海南島事務部長）二十九日上京

▲西澤義徵氏（台同鳳梨常任監査役）三十日來北（鐵道ホテル）

▲山路[illegible]氏（臺灣パルプ工業專務）▲田邊利可氏（同支配人）三十日來北（鐵道ホテル）

▲佐藤倖長氏（日糖支社營業課長）▲勝田稱馬氏（同販賣係長）廿九日來北（吾妻）

▲小泉二朗氏（日本砂鐵工業專務）三十日來臺（鐵道ホテル）

内地では隣組の思想善導が問題になつてゐる▲隣組の思想を善導するといへば、隣組の思想が惡化してゐることを前提とするので、これが事實とすると事は由々敷き問題でなければならぬ▲が事實はそれほどのことでもなく、ややもすると隣組の常會が流言蜚語や買溜買漁りの根源たるかの觀を呈するに至つたので、この際正しき時局認識を與へようといふ程度のものであらう▲いづれにもせよ、自然發生的な隣組や奉公班では、元來が恣意的な家庭生活の延長だけに一應反省を要することは内地臺灣の差別はない▲臺北でもあるところで派出所新築問題が議題となつたところ、隣組が揃つて反對▲遂に派出所新築が流産して了つたことがあるが、事の善惡はともかくその結果官民の間に溝渠をつくるやうでは困つたことになる▲放つて置けば何をいひ出すか判らないのがいまの隣組や奉公班の現狀だ▲話は古くなるが曾つて大正の初期に板垣退助伯を中心に臺灣に同化會なる文化團體が結成されたことがある▲いまの林獻堂氏などもその一翼を買つて全島を遊説し、總督府でも最初積極的に支持し發會式當日は民政長官代理の祝辭があり大いに將來を期待されたが、板垣伯側近が芳しくない人物揃ひであつた上に同化會の性格が漸次變貌し、民族主義運動の與黨たらんとする傾向が濃厚となつて遂に解散を命ぜられた▲それとこれとは事がかけはなれるが、とかく自然發生的に下から盛り上がる力は、力としては甚だ底力強いものがあるがややもすると理想を喪失し本來の性格が變形し易い▲ここに於て、この下から盛り上る力を組織化し體系づけ正しき國家目的に國民總力を結集させるためには何よりも正しき理想を與へねばならぬ▲然もその理想とは得ることによつて生活が空に浮き上つて了ふ理想でなく[illegible]それによつて益々生活を豐かに且つ現實に深さをもつところの理想であらねばならぬ▲ここに、常によき指導者が要請される――即ち日本の如く大地に根を張りしかも[illegible]指導者が要請されるのである

三國志

(601)

（赤壁の卷）

吉川英治作

矢野橋村畫

鈴音（二）

一夜の冬はすぎて、時は建安十三年に入つた。

江南の春は芽ぐみ、[illegible]天は日々つづく。

若い吳主孫權は、早くも、衆臣をあつめて、

「黃祖を伐たうではないか」

と、評議をかけた。

張昭は云ふ。

「まだ母公の喪年も周つて來ないうちに、兵を動かすのは如何なものでせう」

周瑜はそれに對して、

「黃祖を伐てとは、母君の御遺言の一つであつた。何で、喪に拘はることがあらう」

と、說いた。

いづれを採るか、孫權はまだ決しかねてゐた。

ところへ、都尉呂蒙が來て、一事件を披露した。

「それがし、龍湫の渡口を警備してをりますと、上流江夏の方から一艘の舟が漕ひ來つて、約十名ほどの江賊が、岸へ上つて參りました」

呂蒙はまづ、かう前提して、次のやうに話したのである。

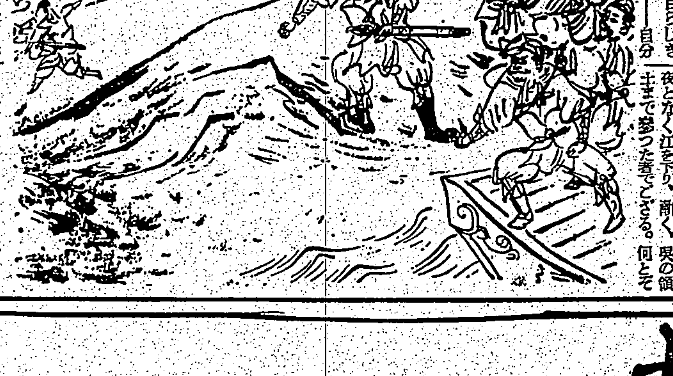
「――すぐ取圍んで、何者ぞと、問糺しましたところ、頭目らしき眉つ先の男が云ふには、――自分は、黃祖の手下で、甘寧字を興霸とよぶ者であるが、もと巴郡の臨江に育ち、幼少から腕だてを好み、世間のあぶれ者を集めては、その餓鬼大將となつて、[illegible]を誇り、伊達を競ひ、常に、強弓、鐵を抱へ、鎧を重ね、腰には大劍と鈴をつけて、江湖を橫行すること多年、人々、鈴の音を聞けば……錦帆の賊が來たぞ！錦帆來！と逃げ走るのを面白がつて、つひには同類八百餘人をかぞふに至り、いよいよ惡行を働いてゐたなれど、時勢の赴くを見、前非を悔いあらため、一時、荊州に行つて劉表に仕へてゐたけれど、劉表の人となりも頼母しからず、同じ仕へるなら吳へ參つて、粉骨碎身、志を立てんものと、同類を語らひ、荊州を脫して、江夏まで來たところが江夏の黃祖が、何うしても通しません。やむなく暫らく止まつて黃祖に從つてをりましたが、元より重く用ひられるわけもない……のみならずです。或る年の戰ひに黃祖陣中にかこまれて、すんでに一命も危いところを、自分がただ一人で、救ひ出して來た事などもあつたが、曾つて、その恩賞すらなく、未だに、下役の端に飼はれてゐるに過ぎないといふ有樣でした。――然るに又、ここに黃祖の臣で、蘇飛といふ人がある。この人、それがしの心事にふかく同情して、或る時、黃祖に向ひ、それとなく、甘寧をもつと登用されては如何にと――推擧してくれたことがあつたのです。すると黃祖の云ふには。――甘寧はもと江上の水賊である。何で股肱を帷幕に用ふべき。飼ひ置いて猛獸の代りに使つておけば一番よろしい。――さう申したので、蘇飛はいよいよそれがしを憐れみ、一夜酒宴の折、右の事情を打明けて――人生いくばくぞや、早く他國へ去つて、如かじ、良主を他に求め給へ。ここにゐては、足下はいかに忠勤をぬきん出ても、前科の名を生涯負ひ人の上に立つなどは思ひもよらぬこと、と、敎へてくれました。……では何うしたらいいかを、更に蘇飛に訊くと、近いうちに、鄂縣の吏に移すから、その時に、逃げ去れよとのことに、三拜してその日を待ち、任地へ赴く舟と僞つて、夜となく江を下り、漸く、吳の領土まで參つた者でござる。何とぞ吳將軍の閣下に、よろしく披露したまへと――以上、甘寧はつぶさに身上を物語つて、それがしに取次ぎを乞ふのでございました」

「むむ。……成程」

孫權を初め、諸將みな、頷々しくうなづいた。

呂蒙は。なほかう云ひ足して、報告を結んだ。

「甘寧といへば、吳國にまで聞えてゐる男士、さるにても、憐れなることよと、それがしも仔細を聞いて、その心事を思ひやり……わが君がお用ひあるや否やは保證の限りではないが、有能の士とあれば、禮を厚うして迎へある明君なれば、ともあれ御前にお取次ぎ申すであらうと、矢を折つて、誓ひを示したところ甘寧はさらに江上の船から數百人の手下を陸へ呼びあげて――否やのお沙汰の下るまで、悦んで待ち居りますと――唯今、龍湫の渡岸に屯して、さし控へてをりまする」



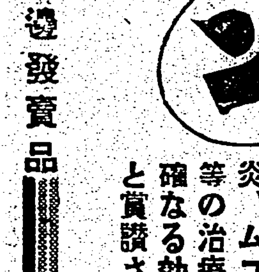
ハゲない・オチない・健康色
口紅
クロハー
ホヽ紅

新入社第一聲！
高峰秀子の明朗なうた！
煙草屋の娘
片面★宵の明星
ワルツの風やさしい歌
ポリドールレコード

高性能のトリアノン
一基ズルフオンアミド劑から二基―四基劑へと進展した化學療法劑は更にピリヂンを結合せる新鋭化學劑スルファピリヂンの發見により適應範圍の飛躍的擴大と治癒率の著しき向上を見た。
トリアノンは我國最初の純正スルファピリヂン劑にして、從前の化學劑に抵抗する双球菌性頑症―淋疾、肺炎、ムコーズス菌中耳炎等の治療に、その俊敏正確なる効果は獨自のものと賞讃さる。
[illegible]
田邊發賣品

あらゆる化膿性疾患に!!
レギオン錠
適應症
急性並に慢性淋疾
副睾丸炎・軟性下疳
齒槽膿漏・齒齦炎
化膿性婦人科疾患
化膿性眼科疾患
扁桃腺炎・中耳炎等
各地藥店に販賣す。品切の節は直接本社に御注文を乞ふ
【包裝】錠劑（一錠中〇・五瓦）二〇錠 五〇錢 一〇〇錠 [illegible]
（粉末・注射劑あり）
製造發賣元 大日本製藥株式會社 大阪市東區道修町三丁目

光る健康美！
ビタミンADBE乳液
渡夏の陽に荒れたお肌を整へ秋冬に耐へる強い皮膚を培ふにはいまのうちにビタミン乳液で充分お手當てをすることです……
資生堂
スキンローション
日焼けあとに・アレ止めに・お化粧料[illegible]　⑧一円・(大)一円五十錢
資生堂



全國青少年團の臨戰の構へを強化

東京で指導者の講習會

【東京電話】大日本青少年團では時局の緊迫化に伴ひ全國青少年團に對する臨戰訓練徹底へ[illegible]を定め全國地方團に指令したがこれが具體化の第一歩として三十日から十月二日まで東京府下小金井町浴恩館で全國要地青少年團指導者を集め要地青少年團臨戰訓練講習會を開くこととなつた、集まる者は東京以下全國要地青少年團訓練指導者約六十名で[illegible]に合宿して臨戰訓練、防空防災訓練、救急看護法、炊き出し訓練等[illegible]一方、朝比奈訓練局長以下本部各部長が講師となつて訓練各般に亙つての講義を行ふ

一、二年用修身教科書を『ヨイコドモ』と改稱

來月二日國民學校教科書調査會

[illegible]

官廳側の送迎著しく減少

臺北驛頭に見る虛禮廢止

[illegible]

海上警報

（二十九日午前十時十分臺灣氣象臺發表）七二〇粍の颱風は本朝六時北緯一九度、東經一三二度、即ち石垣島の南東九九〇〇粁の海上に在り時速二〇粁にて北西へ進む[illegible]の一般船舶は警戒を要す

丹野臺大敎授　寺廟整理視察

【新竹電話】臺北帝大丹野敎授外二名は三十日午後[illegible]時十三分着列車で來新、市內の寺廟並に整理後の信仰狀況を視察する

一萬の轉失業者新しい職場へ更生

歸農對策一ケ年　成績は先づ上々

[illegible]

本間軍司令官あす南下

高雄、彰化附近を視察

本間軍司令官は伊藤副官を帶同、三十日午後三時五十六分臺北驛發列車にて南下、高雄並に彰化附近を視察の上、[illegible]歸北の豫定

南支作戰　山を越え敵を猛進する○○砲隊の活躍

闇夜、泥濘の山登攀西坑山に曉の突撃

壯絶體當りの四邑作戰

【廣東○○前線にて箕浦特派員】[illegible]

在北英人の姿消ゆ

殘るは僅か領事館職員のみ

[illegible]

"お宅は皆さん元氣"

乙女らが出征の家の近況を綴つて高雄高女生前線へ慰問文

【高雄電話】[illegible]

新建設の進行慶賀

獨伊兩巨頭祝電交換

【ローマ二十八日發同盟】三國同盟一周年記念日に當り[illegible]

ムッソリニ首相親電

[illegible]

ヒトラー總統返電

[illegible]

働く人の頭痛藥

ノバポン錠

田邊製藥品

日食殘滴

期せずして洩れる苦闘談

權威者臺北に

日食觀測[illegible]二十九日の[illegible]

長沙高樓に日章旗

陷落の直後空から觀る

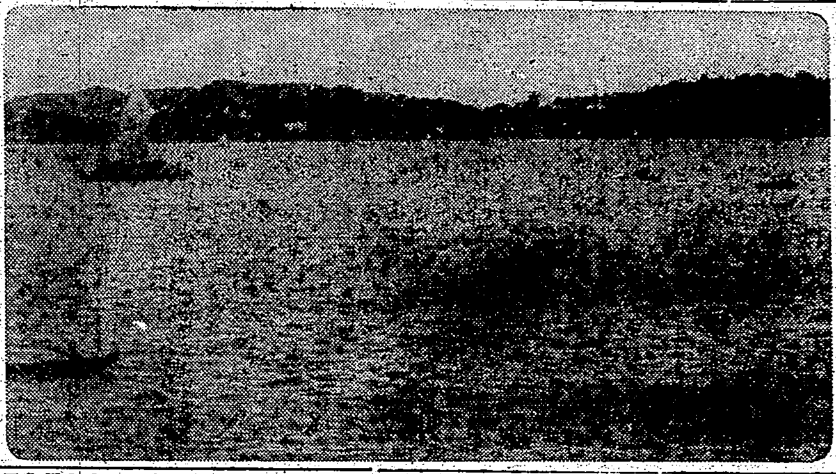
佐藤敎授特別放送　今夕臺北から

【○○基地二十八日發同盟】[illegible]

新竹州下市長郡守會議

十月二日開く

【新竹電話】新竹州では十月二日午前九時半から州會議室で市長、郡守會議を開催、目下企畫中の物[illegible]



志願兵志願者

[illegible]

新竹市の人口八萬餘

來る一日から區域擴張愈よ實施

【新竹電話】[illegible]

市バスの冬季ダイヤ

十月一日から實施

[illegible]

在北部隊、病院遺家族を慰問

大稻埕の藝妓連の初演藝會

[illegible]

藥用洗顏クリーム

ニキビ・色黑專用

藥用ですから、確實の効ひが相當に顯著です

ニキビ除るのがお家藝

七日分の試用品送呈　切手十セン

一個五〇セン

東京・澁谷・上原　株式會社クラヤ

出帆入船

[illegible]

今夜のラジオ

[illegible]

あすの天氣

臺北地方（今晩東の和風曇時々雨　明日東の疾風雨）

北部地方　北東の強風雨

東部地方　北の強風雨

西部地方　北の疾風曇後晴

南部地方　北東の強風曇後雨

澎湖地方　南西の疾風曇後雨

概況（二十九日）七二〇粍の颱風は石垣島の南東九〇〇粁の海上にあり北西に進み、七四〇粍の高氣壓はバイカル湖方面にあり南東に移動する見込、內地の天氣は一般に雨、北海道は曇、樺太は晴、朝鮮、滿洲は晴、沖繩は曇、本島は中南部は晴、他は曇、近海は北東の強風晴又は曇波高し

各地の温度

（九月二十九日）

臺北　二五度（正午）　二八度（午後二時）

恆春	二八度	臺東	二八度
花蓮港	二七度	宜蘭	二三度
澎湖	二六度	高雄	三〇度
臺南	二九度	臺中	二八度
新竹	二四度	基隆	二四度
彰化	二五度	石垣	二七度
那覇	二七度	名瀨	二八度
鹿兒島	一九度	長崎	二二度

ホルスキシ

收益確實　支局長募集

シッカロール　和光堂

アセモ、タヾレの豫防と治療に！

最新鎭痛治療劑　アレビアチン錠

月やく　とどこうり　御心配の方

愛知縣豐橋市公會堂前　中尾本家

文部省推薦　母性進軍歌　テイチク　米若　萩原四朗・作

こんな温かい悲しい人情の世界があらうか！純愛崇高自己を犧牲にして白衣に生き拔く母の心に惜しみなき涙をお流し下さい

虛弱兒にヤトコニン

微熱・輕咳・喀痰・偏食・體重減少の認められる虛弱兒の休質を改善強化して、旺盛な抗病力を賦與せしむ！

鹽野義製藥

歷史的名盤集

稀有の珍品を網羅せる不朽の名盤集！

ビクターレコード

メルバ、カルヴェ、クレーマン、クルプ、バツテイ、ペンベルゲ、イ、カルーソー、ファーラー等世界的名歌手が吹き込んだ秘曲

コロムビア10月新譜

南へ　色の憧れ

歌謠輕音樂選　古賀政男編

洋樂

月下の胡弓

厚生音樂選

大地の歌

ジヤビ　樂團　傑作集

コロムビア

頭痛にノーシン

紅茶界の最高峰

明治の茶

高雅な香味と明快な色調

煎茶・番茶・(川柳)・焙茶

明治製菓株式會社・特製

俳句研究　十月號

短歌研究　十月號

改造社

南方共榮版

わが經濟封鎖奏功し
法幣價値慘落續く
物資不足に流通も不能

【汕頭支局發】我が方の對敵經濟封鎖は強化により完全に敵地區を遮斷し、遮斷された在東地區經濟は全面的に困窮の淵に陷してゐるが、この敵側の經濟の窮迫にも增して敵地民衆を苦しめてゐるのは抗日法幣の流通不能と價値低下である。即ち抗日法幣は最初佛印、ビルマの各種物資や南洋の資源の輸入から將來の抗戰物資が續々として敵地區へ送られてゐた[illegible]汕頭を經て[illegible]法幣に[illegible]抗日の[illegible]し以て法幣の和平地區流入の阻止を企圖したもので、當時我が經濟力を極度に弱く評價してゐた敵重慶はこの抗日法幣の罰則を實施した時は鬼の首でも取つたかの樣に喜び勇んだのであつたが、併し敵の其の喜びも全く一時の糠喜びに過ぎなかつた

その後ビルマルートは我が完全に[illegible]佛印ルートは日佛印共同防衛によつて東亜共榮圏に[illegible]南方方面より經濟する所の[illegible]物資が大方[illegible]しまつた上に、各汕頭の[illegible]も我が軍の[illegible]により全部[illegible]されてしまひ、我が和平地區を經ない以上は物資の一つとして敵地に入る事が出來ない状態となつてから大變である。一般民衆は[illegible]かの抗日法幣を[illegible]て[illegible]、重慶[illegible]からさへ[illegible]一千元につき五十元も通用出來ない[illegible]を[illegible]抗日法幣が今では彼等の[illegible]化してゐるのを[illegible]抗日法幣の一[illegible]する事が出來よう

皇軍潮汕撤退のデマ
欺かれて潛入の敵を擊滅

【汕頭支局發】[illegible]の東[illegible]を企圖せる[illegible]約五百名は[illegible]の上に[illegible]物資不足により[illegible]皇軍に[illegible]し、[illegible]の[illegible]により士氣全く地に[illegible]であるが兵の大部分が[illegible]である[illegible]は正に笑止千萬である

蓬洲鄕でも
二百を殲滅

【汕頭支局發】去る二十二日午後九時頃潮[illegible]西南四粁の地點なる[illegible]附近にも[illegible]第十七師の一部二百名の敵兵が[illegible]二十旅の銃口に狩り立てられて來襲したが、我が[illegible]部隊の包圍[illegible]ところか多數[illegible]と[illegible]を遺し[illegible]たる有樣であつた

粤東敵地物價暴騰
饑える民蔣を惡罵

【汕頭支局發】我が方の[illegible]

海山區の抗戰陣營
綏靖軍進駐に生色無し

【汕頭支局發】[illegible]の[illegible]路軍の海山區[illegible]作戰以來[illegible]一部の[illegible]ルートは完全に[illegible]されてゐたが、我軍に[illegible]より[illegible]のドン底へ追ひ込まれてゐる、[illegible]あたりに[illegible]の七部方が海山區の[illegible]はその[illegible]ある

[illegible]と[illegible]に日近の[illegible]物價は日に日に騰貴して來るので一部富有なものと官吏を除く他の一般民衆は何れも饑餓線上を彷徨し、毎日の[illegible]が續出し[illegible]の[illegible]を呈してゐる、因みに奥地からの[illegible]によると敵地最近の物價は大の如くに[illegible]してゐる

▲米百斤三百元▲マッチ小函一函二元▲鹽一斤六元▲[illegible]一袋二百元▲白[illegible]百斤五百元▲[illegible]油一罐四百元（品無し）▲ガソリン一罐八百元（品無し）▲[illegible]一[illegible]千元

ビルマ政府
全棉花買占め
價格暴騰を防止

【上海特電】ビルマ・ルート[illegible]化に[illegible]するビルマ政府は最近棉花の一部[illegible]價格の[illegible]を防止のため[illegible]棉花[illegible]を行ふ[illegible]したと云はれてゐる

台灣の家庭

販賣價格は…
「適正な利潤て

㊀は最高價格

戰時下國民の經濟生活を[illegible]す因になる[illegible]の[illegible]暴利[illegible]などの[illegible]も現在では全く影をひそめてしまひ[illegible]に喜ばしいことと思つてゐます、今後益々[illegible]國家の[illegible]に國民一般の[illegible]たいものですが、[illegible]公定價格について[illegible]を抱いてゐられる方があるやうですから、それについて少し申述べて見ませう

（公）（定）　價格が一般に決定されてから、それまで公定價格以下だつた商品も一齊に公定價格の線に跳ね上り商人もお客も公定價格以下で品物を販賣するといけないといふやうな誤解を生じてゐました[illegible]公定價格は最高販賣價格で[illegible]するものです、販賣價格として[illegible]の方が[illegible]せて仕入値段、利潤を考慮して出來るだけ安く、適正な値で賣るやうにしなければならないのです

（從）（來）　の業者やお客方の[illegible]を一掃し、すべての品物が公定價格以下の[illegible]で[illegible]されるのが望ましいとともはつきり示すため、去る八月六日に表示規則が改正されて現在のやうになつたので、つまり以前は公定價格一圓の品物を[illegible]する時は㊀の表示だけで賣られてゐたのであるが、現在では同じ品物でも公定價格と販賣價格一圓或は八十錢といふ具合に必ず表示を二つづつ用ゐるやうになつたのです

（販）（賣）　價格は[illegible]に必ず表示を[illegible]ならないといふ從來の誤つた觀念を改め、公定價格は最高販賣價格を超えた價格で賣る事は出來ないが公定價格以下ならいくらでもいいといふ事を[illegible]理解して頂きたいと思ひます【[illegible]田光治氏談】

衣服改善試作

（1）婦人國體服（若人向き）

厚生省の[illegible]に[illegible]じ、それに[illegible]した[illegible]大日本國防婦人會[illegible]（和・洋）が[illegible]して試作[illegible]は[illegible]を絞り、襟を立てれば非常用（左）になります

[illegible]は非常を痛感された若い人のために作つたもの、生地は國防色地、前合せは和服式に左上、又はふくらはぎまで、胴、作業、非常用に十分活用出來ますで用ひられるやう工夫してありますから野良用、旅行用、登山用などにも至極便利です、平常姿（右）

頭を明晰にする玉葱

臺灣に[illegible]される玉葱は主に北[illegible]、千葉、[illegible]のものです。今年は内地では六月の雨で一般[illegible]の[illegible]が多かつたので非常に玉葱が[illegible]され、臺灣にくる玉葱も今年は[illegible]よりかなり少くなるでせう。

玉葱は色によつて黄玉葱、赤玉葱、白玉葱等と大別され、其の成分を分析して見ると、可食分七五・九八％、水分九五・一八％、蛋白質〇・七四％、粗脂肪〇・一六％、含水炭素三・二九％、無機質〇・二五％、[illegible]〇・三七％、[illegible]外にビタミンABCを含む[illegible]食料品で、頭腦を明晰にし、安眠をたすけるなどの[illegible]もありますから、調理法を考へて美味しく頂きませう。次に玉葱の料理を二つ、三つ

ベークト・オニオン＝先づ玉葱の皮を剝き、兩端を少し切り、鹽茹でし、よく水を拭つておきます。次に紙にバタを塗り、之で玉葱を包み、十五分程フライパンで蒸焼にします。これを皿に盛り、食鹽と胡椒粉をふつて頂きます。

フライド・オニオン＝玉葱の皮を剝き、兩端を切りとり、二分位の厚さに輪切りにします。別に玉子に水を混ぜ、これにメリケン粉を軽く溶き混ぜ、玉葱に十分に衣をつけて煮立つた油であげます

防衛食をめぐつて

國士防衛食品として如何なる食品が必要かについて、日本[illegible]協會誌審部では各方面の意見を徵したところ、それに[illegible]して次のやうな回答が集りました

魚（鯖）、野菜、果實（市川房枝氏）、肉類、魚類、蔬菜類（[illegible]博士夫人[illegible]もの、五目煮（[illegible]三郎氏）大和煮式のまま食べられるもの（[illegible]郎主任[illegible]氏）野菜果實が全體の三分の二、肉類（獸、魚）を全體の三分の一（[illegible]博士[illegible]野武夫氏）

まづ蛋白と脂肪とを主成分とする缶詰の[illegible]に重點をおくべきで、炭水化物を主成分とするものは平和時代に[illegible]の十分あり餘つてゐるときにこそ[illegible]るべきものでせう（[illegible]研究[illegible]中澤辨治郎氏談）

生活の[illegible]

臺北　田部洋子

時間で生活をすると云ふと"生活の潤ひがなくなるでせう"と云はれる方があるが、必ずしもさうではないと思ふ。家の中の整理も出來るし、第一に時間に無駄が無い。"潤ひ"と云ふものは家族が氣を合せさへすればいくらでも方法はある。しかし一口に言ふがやはりその實、なかなかむつかしい。

私達"友の會"に入れて戴いてより生活暦を作つて時間で生活をする様にしてゐるが、守られない時の×印の方が多い時がある。大方は起床時間より就寝時間の方が×印になる。十一時、就寝ときめてゐても夜はなにかとゆつくりしすぎて遲おそくなつてしまふ。夜がおくれると結局は朝がおそくなり、その日は一日時間が狂つてしまふ。外國婦人の生活を眞似ようと云ふのではないけれど家庭に取入れて生活の工夫をすべきではないかと思ふ。

冬瓜お料理二つ

冬瓜のトマト煮

材料　冬瓜一斤、豚肉一〇〇瓦—一五〇瓦（鷄肉でもハムでもよろしうございます）トマトケチャップ大匙五杯、鹽胡椒少量、砂糖小匙一杯、片栗粉、又はコンスターチ大匙一杯

調理法

1、冬瓜の皮と種子を去り二糎角位の大きさに切ります

2、肉は小さく切るか、又は挽肉にいたします

3、鍋に少量の水と冬瓜と肉とを入れて火にかけ、冬瓜が軟かくなりました時に鹽、胡椒、トマトケチャップを入れて調味します、お好みにより少量の砂糖を加へてもよろしうございます、最後に水溶きした片栗粉少量加へまして、お汁をどろりとさせます。お皿に盛りましてからグリンピースか晒しパセリーを少々散らしますと色どりが美しくなります

冬瓜のそぼろ餡かけ

材料　冬瓜一斤、挽肉一〇〇瓦、玉葱小一個、砂糖大匙一杯、醤油二、二〇瓦、片栗粉大匙一杯

調理法

1、冬瓜は三糎角位の大きさに切つて淡い鹽湯で十分軟かくなるまで茹でます

2、別の鍋に醤油と少量の酒（又は水）砂糖を調合して甘からい汁を作り挽肉とみぢん切りの玉葱を入れて煮ます、玉葱が十分軟かくなりました時に片栗粉を水で溶いて入れてどろりとした餡を作へます、豚肉を用ひます時は出來るしぼり汁を少々加へますと臭味がぬけます

3、冬瓜を盛りました上からこの餡をたつぷりかけて温かい中に供します（女子高等學院、坂田秀子女史談）

スラバヤの市内運河

汕頭日語聯盟强化
中國側學校も參加

【汕頭支局發】汕頭日語聯盟の强化[illegible]に[illegible]してはかねて當局に於て研究中であつたが、この程[illegible]共榮會主席、[illegible]本願寺日語學校、小[illegible]の[illegible]者[illegible]人が參集し[illegible]の結果次の事を決定した、一、從來日語聯盟は邦人經營の日語學校のみが参加してゐたが、これを[illegible]强化するため中國側中、小學校の國語學校を加入させる事（この點に關しては汕頭市長[illegible]少壯民が非常な親日家で積極的に支援する事になつてゐるので[illegible]整備が出來次第十一月頃に實現する見込みである）

二、十一日中旬頃に日語合同の日語學校の學藝會を開催する事

三、聯盟の會長は總領事の互選により汕頭共榮會主席[illegible]氏を推薦する事

[illegible]の事務所は[illegible]印[illegible]に置く事になつて居る

南支座談會（中）

慰問袋の國旗立て
佛印將校に武器を返還

記者　進駐第一日の感想は

楠美少佐　あがつて感いたのは安南人が沿道のピカピカ光る舗道の前まで來てニコニコ笑つて出迎へ、少しも恐ろしいと云ふ風がなかつたことです、部隊へ行くと新聞を集めて來て火を燃やしてくれたり非常に樂しさうに世話してくれた

名和中尉　私達は二十八日に汕頭から上陸しましたが、第一番に暑いと感じましたね、その時は既に大分好感が決まつてゐたから戰爭の方の心配はないが佛印の九月に武裝をして歩いたのだからともかく暑かつた、安南人の[illegible]が[illegible]たが[illegible]部隊長で接して來、言葉は判らぬながら地面に指で「人同」と書いて「人民」の[illegible]が[illegible]ひ出してくれたなんて[illegible]に云つてゐた

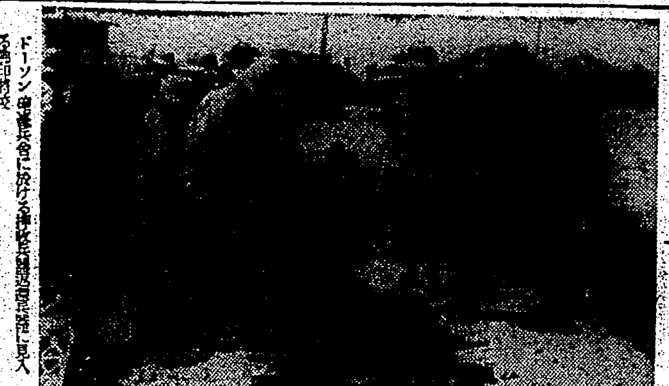
楠美少佐　ドーソンホテルに入れて置いた武器返還交渉があつたぢやないか

伊得大尉　ドーソン砲臺で守備兵の武裝解除した武器なんですが、ドーソンの砲臺から總督府副官房長のジュアン大佐が司令部に武器返還交渉に來、副司令官に先づ面會を申込んだのです、[illegible]部隊長が出て「總督代理として來たのでなければ軍司令官に面會出來ぬ、總督代理として來たのか」ときめつけると「官房長として來たのだ」と答へるので「總督代理として來れば明日午後會ふ」と云ひ合つて何と云つても頑として軍司令官への面會に應じなかつた、以來最部隊長の勇名は佛印側に轟き渡つてしまつたさうですよ、ドーソン砲臺の兵器を返す時のことは名和中尉が直接その衝に當つたのだから……

名和中尉　押收兵器を返還したのは十月二日でしたが、それまでにドーソンの駐屯隊長が拜日文隊で返還を願ひ出に來ました、何しろ軍人が全くの丸腰なので一寸氣の毒でもありました二日の朝トラック二臺に武器を積み、歩兵一ケ〇隊で來援・とにかく兵器だから禮を盡さうと思つて出かけた、昔、東京の小石川にゐたことがあるといふ少尉が我々を迎へに來たのですが來るとすぐ丸腰で安南人の前を通るのは恥しいから自分のサーベルだけ先にくれといふので、もつともだと思つてそれだけ手渡してやると大變な喜びやうでいろいろと話しかけて來た、向ふに着くと佛國旗を掲げるから敬禮してくれと申込んで來たので、君達が先づ日本國旗に敬禮したらこちらもその禮を盡さうといふ、さうすることになつたが、手許に日の丸の旗がない、丁度持つてゐた慰問袋に日の丸が入つてゐたのでこれを竿の先につけてやりました、返還は極めて友好的にやりました、我々は押收したものにもせよ軍人の魂である兵器の返還なのだから嚴粛に取扱ふ積りだつたが、返還すべき場所も何も作つてない仕方がないからむしろを出して置いて呉れといふと妙な顏をして置いて行つてくれれば良いといふやうな態度なので「日本人は武器は大切に取扱ふものと心得てゐる」といひ、むしろを出させてその上に押收兵器を並べさせ、數を調べて返還を終つた、ところがこちらはさういふ態度なのに自分の兵器を足で押しやつたり、數を數へるにもステッキの先で數へてゐた、何だか武器に對する取扱ひからもつくづく國民の違を感じた、そしてこの兵器を返還しても今後衝突を起さないといふ保證の一札を取らうとしたが、流石に却々書かない命令だからと頑張つて取つておきました

△出席者

寄帥　澁治少佐（東京市）
楠美　一郎少佐（弘前市）
酒井　彌少佐（大分縣）
伊得　孝吉大尉（埼玉縣）
名和　倉造中尉（横濱市）
高田　守男中尉（下關市）
木下　龍三少尉（東京市）
同盟支局員　森納・山田・伊藤



ドーソン砲臺兵舍に於ける押收兵器返還式場に見入る佛印將校

眼鏡の置き方

主婦の心得

眼鏡の玉は不注意に扱ふと細かい疵が無數につくものですから、机の上に眼鏡をはづして置く時には、仰むけにならせぬやう、ガラスの緣とツルとで立てるやうに置くことです。また眼鏡がくもつてゐますと眼のためにも惡い影響を及ぼしますから、よく注意してセーム皮のやうにやはらかいもので玉に疵をつけぬやうに拭いて下さい。

商況（廿九日）

東京短期前場

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京短期日歩

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京銀行實株

[illegible]

東京國債前場

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

大阪短期日歩

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

眞心をペンに託して戰線へ！

丸善アテナインキ

ATHENA

65CC.入
2オンス入

朝夕一粒

特種動物ホルモン精膽藥

救心

心臓や胸・胃の

抗病ホルモンを增强して病因から手當をし、芯から丈夫にする

昔は大名武士の護身用秘藥に、現代はホルモン藥として評判の、麝香・熊膽・牛黄・眞珠、他數種の精膽を配伍した「救心」は、動物成分故、内臓への吸收同化が早く血行と抗病ホルモン分泌を旺にして病因から、良く手當して健康に、導くので病弱の、方に喜ばれる。

「救心」のキキメある症狀

・心臓の病で苦しむ人
・肺臓や膵のよくない人
・胃弱で食慾の進まぬ人
・心臓弱く動悸や息切の人
・脈が弱く熱やセキの出る人
・盗汗で夜分ね苦しい人
・神經痛で手足の痛む人
・心臓脚氣で苦しむ人

發賣元　救心本舗
東京市京橋區八丁堀二丁目十一
電話京橋（五）二〇一番・九〇四番
振替東京七二一六番

三週分二圓、二週分三圓五十錢、三週分五圓。藥店デパートにあり。ハガキで申込方に「心臓の手當と全妻生活」進呈す。

鼻病を治療するには

鼻の病氣は腦に近い部の病氣で蓄膿症しても重い方が多いやうですが、これが慢性になつて鼻に入つて頭痛を起せば物覺えが惡くなり仕事に倦き易くなり腦の疲勞より考へても其の病症はむしろ内臓に存する病的の疲勞による發病の患者も内服すると云ふ事が出來ます。此

此の點に着眼して治療の理想を狙つたのが内服「天晴」です。本劑は腦を清め惡る抵抗し鼻の抵抗を强め炎症を去り分泌物を除し鼻詰りを解消して鼻病の進行を制御し、治す合理的作用があります・すでに之を外部から治療剤を用ゐると共に外用「天晴」を用ひ治療の原因を除しく原因の根本に順へて好結果を得てゐる

蓄膿で腦の惡い人
鼻詰りて頭重の人
物の匂ひの判らぬ人
仕事に倦き易い人
物覺えの惡い人

試藥進呈

病原を衝く

天晴

内服　十日分一圓二十錢　外用十日分八十錢　内服二圓　各地の藥店にありますが左記本舗にハガキでお申込み次第鼻病の治療說明書を無代進呈します。

【各地藥店で販賣】

熊本市水前寺通白山町八五〇　本舗　再春館製藥部

關西總代理店　大阪　高橋盛大堂

婦人倶樂部　十月號　お求めは早く！

大評判の特輯記事と折込

特輯　家庭と隣組の防空必勝讀本
この秋へあれば空襲も恐るるに足らず！

特輯　冬の實用毛糸編物
出征勇士慰問用編物も發表

折込　足袋と靴下の實物大型紙
有布利用經濟な足袋と靴下

折込　應用自在　毛糸編物規標準表
子供物大人物に應用自在！

井野農相と戰時食糧問答
新案特許實用品十六種の作り方
材料不足時代の榮養對策講座
戰時下に嫁ぐ娘の心得七ケ條座談會
殊勲に輝く荒鷲部隊長の座談會

◎此のほか時局記事、評判小說、實用讀物等を滿載大評判!!　定價五十五錢　東京小石川　大日本雄辯會講談社發行

お顔は心の鏡

どんなに美しい花でも、曇りのある鏡に映せば曇つた樣に、汚れた鏡には汚れた樣に、よく磨いてない鏡には、必らずゆがんだ樣にしか見えないもの。

この樣に、どんなに清く美しい心の持主であつたとしても、若しお顔が醜く汚れてゐたり、身嗜を忘れた樣な、色黑やニキビ、脂顏などであつたら、その清さ美しさも、どの位割引かれて見えるか知れないのです。

つまり、お顏は心の鏡なのですから、教養のある人、優しい人、美しい心の持主であればあるほど、何時も美しく、清らかなお顏を保つ必要がある譯けです。

レオンは、たゞ表面だけのお洒落よりも、かうした優しい、美しい心の持主の方に、心の鏡を磨く樣な心持ちで、永く愛用して頂くための科學的に創られた美肌料なのです。

レオン洗顏クリーム

化粧品店・藥店・百貨店にあります。定價一圓五十錢・大實業務外品

南支作戰　山を越え敵を猛追する〇〇部隊の苦闘

成層圏 (79)

廣津和郎作
大貫松三畫

別な競争者 (五)

その言葉の中に漠然とした怪しげなものは感ずるけれども、その顏は少しとぼけたやうににこにこ笑つてゐる。——綾彦はあや子の心持をどう解釋して好いかちよいと戸惑ひした。併し戸惑ひはしたけれども、女に對して自信を持つてゐる男の常として、それを自分に惡いやうには解釋しなかつた。否に角彼女は笑つてゐる。笑つてゐる以上、自分の言葉に決して不機嫌になつてゐるのではない……

「まあ、あなたにもよく考へて頂く事にして。……僕は今度自分で病院を開かうと思つてゐるのです。それは僕の親父の遺して置いて呉れた金を、僕に叔父があつて、あなたの亡くなつたお父さんには、僕の親父同樣御厄介に成つてゐたのですが、その叔父が管理してゐたものですから、その親父の遺して置いた金をいろいろ動かして利殖して置いて呉れたのです。僕が學位が取れたら、その時病院をやらせようといふので、叔父がそれを今まで保管してゐて呉れたのですが、それで今度病院を立てようと思ふのです。敷地は貴方の叔父の土地があるので、そこを提供して呉れるといふ事になつたのです」

「まあ、結構ですこと」

「結構といふ程の事もないんですが、まあどうやら一人前の醫者にやつとなれるところまで漕ぎつけたわけなのです。……それであや子さん、僕もさうして一人前に病院をやつて行くといふ事になると、今まで通り獨身であるわけにはどうしても行かないので、妻を娶めなければならないと思つてゐるんです」

「それはさうですわ。早く御結婚なさらなければいけませんわ」

「あや子さん、それで僕はあなたにはつきりした御意見を聞きたいのです」

「わたしに?」

「ええ、お母さんまでは前にも話はした事があるんですが、お母さんからあなたに何かお話がありませんでしたか?」

「いいえ、別に……」

そんな筈はないが、といつたやうにちよいと小首をひねつて、綾彦は口を噤ち、暫らく默つて歩いて行つた。——あや子はいつか綾彦がこの問題を切り出すといふ事は豫期してゐたし、何かそれが恐ろしいやうな氣がして、なるべくさういふ機會を避けるやうにしてゐたが、今いよいよ彼がそれを切り出し始めたと思ふと、それに對して豫想してゐたやうな恐ろしさや嫌惡感を少しも感じないのが自分でも不思議であつた。それは場所も好いらしい。あの雰科の人氣のない高臺などだつたら、どんなに恐ろしいか知れないだらう。併し此處は往來の然も賑やかな通であるし、同じ方向に向つて歩いてゐるので、互に顔と顔とを向き合はさないでゐられるし、默つて彼の言葉を餘裕綽々と聞いてゐられる。男から求婚されたら、その男が嫌であるとしても、[illegible]つて居るだらうと想像してゐたのに、こんなに冷靜に聞いてゐられるといふ事は、自分ながら意外であつた。

「僕は前からいつか一度はお話しなければならないと思つてゐたのですが」と再び彼は口を切つた。「あや子さん、あなた未だ御食事前でしたら、そこの大和田にでもつきあつて頂けませんか?」

「わたし……母が待つてゐますもの」

「まあ、然しちよいと位なら……」

「でも……母一人で晩御飯を食べさせちや可哀想ですもの」

あや子は對手をさう辱しめないで濟むうまい言葉が見つかつたと思ひながら、體よくかう拒絶した。

文學裸記帖

龍瑛宗

臺北におけるアンドレ・ジイド風景

いまは、都落ちしてしまつたか、わからないが、昨年までは臺北市のアスファルト路上で、臺北の近代女性が、すこし頭の禿かかつたアンドレ・ジイド氏を小脇に抱へて、颯爽とあるいてゐる姿が、ちよいちよい見うけられる。手で顎を支へ、懸命に考へこんでゐるアンドレ・ジイド氏の寫眞入りの本は、多分「未完の告白」であつたらうと思ふ。

アンドレ・ジイド氏は、自分の著作が臺北で讀まれてゐるなんて夢にも思はなかつたらう。臺北で讀まれてゐることは要する日本中に讀まれてゐることだ。アンドレ・ジイド氏は本國フランスよりも、日本の方で騒がれてゐるらしい。

なぜ、アンドレ・ジイド文學は若い人たち、殊に女性などに騒がれてゐるか。

おそらく、アンドレ・ジイド文學は、知性文學の驍將とでも云へるであらう。彼の作品は、鋭いナイフのやうな理論で構成されてゐる。しかし、彼の理論の裏はむしろ鋭い力であると思ふ「贋金つくり」を讀むと、彼は手品師のやうに作品を構成してゐる。

アンドレ・ジイドを裏返しにしたやうな作家はドストエフスキーではあるまいか。この二人の偉大な作家は、共に法官である。さればこそ、アンドレ・ジイドの「ドストエフスキイ論」は精彩に充ちてゐる。おそらく、アンドレ・ジイドは自分にないものをドストエフスキイに求めたのであらう。

昨年の冬、北投の宿で、廣津和郎氏とお話してゐた折、たまたまアンドレ・ジイドのことに及び、どうも、アンドレ・ジイドは、頭でつかちの感だれと言はれた。しかり彼は全身、理論で武裝してゐる。隙間がありやしない。作家として彼らに、よそよそしい。アンドレ・ジイドの文學には、生活の肉體がない。幻影だけな。アンドレ・ジイドの鋭い理論を取り除かれたら、日本に武者小路實篤がゐる。

作家をとりまく環境といふものは、決定的である。御承知のやうに、アンドレ・ジイドは良家の出身である。そこに彼の文學の地盤がある。

ドストエフスキーは人々の前でおどおどした眼つきをして坐つてゐるが、アンドレ・ジイドは遠いところで、頭を抱へてしきりに考へこんでゐる。

社會に屹立ちしたばかりの若い人、ことに女性たちは、汚れた生活の內臓を知らず、ひたすらに純粹なものに、甘い苦惱を求めたがるものだ。彼らの偉大な教師はアンドレ・ジイド氏であることを發見する。

理論を求めることは、よいことである。ことに若い女性は、もつと知性を身につけなければならぬ。アンドレ・ジイド文學の內容に共鳴するかしないかは、各々の批判に俟たなければならぬが、その思考行爲には學ぶべきところがあらう。

アンドレ・ジイド的文學を日本に發展することは、むづかしい。

澎湖島の民話と俗信

（二）

國分直一

數多の神々の中で最も恐れられ最も多く祀られてゐるのは王爺であらう。

西嶼の北極殿には玄天上帝とともに丘王爺、金府王爺を、湖東の聖帝廟には朱王爺、李王爺、岳王爺を、蘇爺の聖帝廟には文衡聖帝とともに蘇府王爺を、南寮の保安宮には保生大帝とともに池府王爺を、白猿坑の王爺廟には李府王爺、吳府王爺、朱府王爺、蘇府王爺を、良文港の西廟には黑府王爺を夫々祀つてある。勿論以上の諸廟には以上あげた諸神の他に色々從神が祀られてゐるが略した。

王爺の由來については「明末三百六十人の進士が済に給ふことを嫌つて自殺し、その靈天に昇つて玉皇上帝より、王に封ぜられ、その命をうけて地界に下り諸人の善惡を觀察する」といはれてゐる。然し王爺については又「明の始め三百六十人の進士海を渡つて臺灣に赴く時、大風にあつて盡く溺死した。この三百六十人の進士を王爺として祭つた」として溺死せる魂をもつてゐるのである。本島に於いてはどうであるかは知らないが、風浪荒き孤絶の島の神としてもつてゐるさうな感覺である。

水死人の靈魂の出現するといふ話は水邊部落にはどこにいつても聞かれることであるが、良文港の萬善宮の傳說もその類型の一つである。尖山の南海岸にあつて祭日のある官船が坐礁し、破れたため多くの人が死んだ。これらの靈魂が出沒して人民をいぢめる故、この宮をたてた。といふのである。

南寮の保安宮については、支那方面から酒蔵敷、今の南寮、北寮の中間に相當する所に住居を定め、支那から將來した香火を祀る廟を建てることを議した。丁度その時安平方面から一大船が材木を滿載した儘で遭難のために良文港に漂着した。どの材木にも保生大帝と記されてあつたので村民はそれを南寮に寄贈して廟を建築せしめた。

支那から渡來した人々の村に安平方面から保生大帝と書いた材木をのせた船が漂着するといつた、この民話の構成は海賊の島であるといふ地理的事情、この島の文化交流の經路などをもよく反映せしめて興味深いことである。

島であるから海洋漁民の物心二面の生活に於いて大きな意味をもつてゐる。從つて民話や俗信の中に海は色々な形で登場してくるのである。湖西には天后宮があり、天上聖母、底府王爺、守府王爺、翊化太子、鰻將帝を奉祀してあるが、その天上聖母の傳說には鯨が出てくる。

昔、鯨に角があつて漁船に害ふ毎にわざとそれを毀へし、漁民を苦しめた。そこで聖母はこれを不憫に思ひ、足で鯨の角を踏みとつた。それより船の災難がなくなつたので漁民はこれを護神として船に祀ることになつたといはれてゐる。

虎に關する民話は本島至る所にあり、廟には虎爺を祀つてある程であるが、澎湖島の虎の話は丘と海を舞臺とする點に於いて特色がある。こんな島に虎がゐたとは思へないが、古老に聞いて見ると、ちつとも不思議な顔もしないのである。彼等の先祖は色々の虎の民話をこの島にもちこんだにちがひない。それが、いつの間にか、この島の自然を舞臺として活躍する虎の話に轉化され、さうした形のものだけが傳承されてゐるのである。

吉貝嶼北方の高い丘に昔虎がゐて、いつも人を食べてゐた。それで漁へ魚をとりに行く人は先づ魚や菓子を虎にさし上げてから行くことにしてゐた。ある時村人は昔で虎の子三匹を捕へて船にのせ沖へ捨てに行つた。親虎はそれを助けに沖へ泳いでいつたが、とうとう溺れて死んでしまつた。それから虎の禍がなくなつたといふことである。

虎とともに俗信の對象となる鯨については、鯨がこの島を救つたといふ話を傳へてゐる。それは新しい時代のことで日露戰爭の頃のことである。日露戰爭の時、露國軍艦が吉貝の海に來た時、鯨が天より下りて湖の水をみな飲んでしまつたために軍艦が入港出來ずすごすごと逃げた。といふのである。

M·N血液型の話（下）

南風原朝保氏談

種でO、A、B、ABにM、N、MNが付いて來るから判定の範圍が狹められて來たことになる

（第一例）

獨逸の某病院でB夫人とD夫人が同日に男の兒を分娩した。所がその翌日になつてD夫人から、子供が取替へられたらしいと訴へ出た。然し病院の方ではそんな事はないと云つてD夫人の訴を拒絕した。それから十二年たつて偶然にも兩家が同じ町に住む事になつた所が面白いことにB夫人の子がD夫人に似てゐるし、D夫人の子供がB夫人そつくりと云ふ事で、町の人も不思議がる位であつた。茲に於て再び十二年前の疑問が起つて來て之を解決するために血液檢査が行はれた。——

所が此場合もA、B、O式血液型では解決がつかなかつた。何となれば兩家庭共に片親がOで他の親がA型であり、問題の男兒がA型であつたからである。それで此度はM、N型を調べて見ると、一方の兩親はN型とMN型で問題の子供はMNであつた。之れだけではこの子供はこの夫婦の間から生れても差支へないのであるが今一方の家庭を檢べて見ると兩親はM型とMN型で子供はN型であつた。この兩親の間からN型の子供が生れる事は有り得ないから、この子がこの兩親の子供でないことは明白である。次にN型の子供は一方の兩親の間に生れてもよい血液型であるし、又MN型の子供はM型とMN型の兩親の間に當然生るべき血液型であるから子供が病院で取替へられた事に違ひない事が判明した。

（第二例）

これは米國に起つた實例である。某夫人は夫の外に愛人を持つてゐた。それで夫人の生んだ子供が夫の子供であるか愛人の子供であるか判らなかつた。妻は子供の眞の父と一所に住み度いと主張してきかないので、血液型を檢査する事になつた。妻はB型、子供はA型であつたが、夫も愛人もA型なのでどちらが眞の親か之では判定は出來ない。M、N型を檢べてみると、夫はM型、妻も子供もM型で、愛人はN型であつた。N型の人はM型の子供も眞も持つことは出來ないからこの子供は愛人の子供でない事は明白である。即ち夫のみが眞の父であり得るのである。

子供	妻	愛人	夫
A	B	A	A
M	M	N	M

（第三例）

これも米國で、非常に面白い例である。

X夫人は結婚して數年になるのに夫との間に子供がなく、夫人は甚だ寂しく思つてゐた。丁度其頃X夫人はY氏と知り合ひになつて互ひに愛し合ふ仲になつた。間もなく長男が生れ三年後には長女が生れた。

この頃になつてX君は夫人とY君との間にただならぬものがある事を知つた。或時夫人はYとの間を夫に告白して離婚してY君の許に走らん事を求めたが、X君はそんな事をすれば姦通罪として法廷に訴へると脅した。然しX夫人は子供はYの子供であると信じてゐたので夫に訊いて血液型によつて之を明かにせんとしたのであつた。檢べて見ると夫も妻も二人の子供も總てO型であつた。然るに情夫のYはA型であつた。然し此結果では子供の父をYともXとも判定し兼ねた（第一表參照）

所が二箇月たつて三番目の子供（次女）が生れた。長男は五歳、長女は二歳、次女は一歳此度はMN型を檢べて見ることにした。夫はMN型、妻もMN型、愛人YはN型、長男MN型、長女M型、次女A型でN型であつた。

夫　O MN
愛人　A N
妻　O MN
O MN　O M　A N

長女はM型、愛人はN型であるから、この子はYの子でない事は明かである。所がこれは夫の子ではなく愛人の子である事は明白である。

長男は夫の子であるか、Yの子であるか何れとも判明しない（かういふ場合に[illegible]檢査をする）が三人の子供の中二人まで其の父を決定し得た（筆者は醫學博士）

短歌 樋詰正治選

東支那海の波濤の中を島一つただよふ記憶ありありとたほ　武並靜

夜更けて數多の兵の出發つらしきとよめき聞え心足しぬ　落合秀

陸地より隔り來るとも吾子ら心ゆるめず銃後にはげめ　佐原良毅

幾度か生死のさかひを越えて來しわが命なりをしまざらめや　江夏秀子

新高主山は天上の如くおもひしがなほ高き空ありて青く澄みたる　仲津定義

宵ながら月の光にわが見たる山家の垣の桔梗の花　山田とみゑ

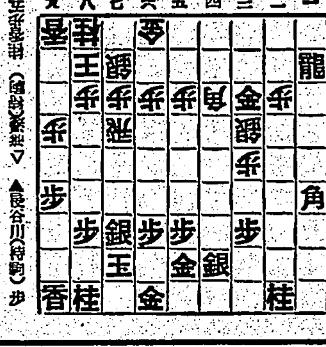
[illegible]（十圓以上）

[illegible]

二十四棋士勝繼戦

△八段 渡邊東一（香落番）　△五段 長谷川清二郎

（第五十五回の第7局）（圖は前局三三金打迄）



△六五桂（20分）　▲四三金（一）
△七五香（3分）　▲六六金直（4分）
△七七桂成（13分）　▲同　桂（一）
△七六銀（2分）　▲八九桂（12分）
[illegible]　▲長谷川（持駒）歩
△七七銀成（21分）　▲同　桂（一）
△六五桂（一）
指手七十七手　持時間各六時間　消費時間　▲五時間二十九分　△四時間五十四分

俄然反撃!

觀戦記　金易二郎

自陣は到底維持し切れないと見た渡邊八段は二十分、俄然△六五桂、乘るか反るかの決戰に轉じた…角を犠牲にしても、四三金の形が惡く、本陣を脅かされる迄には相當な手數が掛る。…要は武器の不足が問題の中心となるのだ。併し長考や、それも考慮してゐる秋ではないのである。盤上には殺氣横溢が迸つた。長谷川「寄せられても金を打つた以上は仕方がありません」▲四三金と角を取つて敵の反擊を必死に喰ひ止める覺悟をした。勿論、四三の角を生かして置いたのでは尚更危險が加はるばかりである。と、渡邊八段は續いて△七五香必死の七筋突破を試みた。ここの戰果こそ勝敗を決するもので、若し、見事成功すれば上手の勝となるし、長谷川君の懸命な受けが之を阻めば駒得が殘つて必勝となるだらう。盤上は、砲聲殷々たる戰場の如く、白熱の指摘と化してゐる。渡邊「打つて見るか!」激しい駒音を後にして△七七桂成——決死の▲同桂の瞬間には△七六銀、矢鱈早の猛襲……

此の手で七七香成、同金、六五桂もあるが七六歩と受けられ、八九銀なら八八玉、四三銀、同角成七八金と利かしても、同金と取られ、同銀成、同玉、七六飛と逃んだ時に六九玉と都落ちをされて指し切りとなるのである。

此處を先途と長谷川君は、受けて受けて、受け切るより勝利の途はない、で▲八九桂と受いだ。渡邊氏は二十一分の考慮を拂つて△七七銀成の突入に移る。我で八四飛と廻る手もあるが八六歩と一旦突き捨てられ、同飛の時八八歩と受けられ問題にならない。果してこの爭ひは如何落着だらう

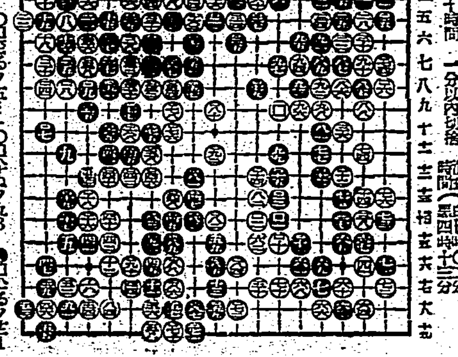
木村名人講評　上手六五桂は無謀に角を取らせるやうだが五二角では四三歩で惡い、現狀に於ける勝負手として恐らく已むを得まい。次で七五香以下の肉薄も兵力不足で指切りだが、敵の受けの如何によつては未だ勝味もあるので、[illegible]を狙つてゐる。下手六八[illegible]たつたことに[illegible]

本社主催 日本棋院 十人拔大碁戰

第六局の十四

五段 長谷川章
（四目半コミ出し）
先番 五段 島村利博

持時間各十時間　一分以內切捨
消費時間（白七時間十二分　黑四時間十三分）



いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

[illegible]

◇百九十二手
◇白　中押勝

長谷川君快勝

觀戰記　評解七段 林有太郎

白九十二までとなつて、黑が後手で活きてゐなくてはならないのでは、既に戰ふ餘地もないものと見ての島村君の投了だが、それにしても此一局は長谷川君徹頭徹尾調子がよく、中盤で碁になつたと思つた途端から此終局に至るまで少しの危な氣もなかつた處、長谷川君終生の傑作の一つとして殘るものであるかも知れない。關澤君開山君を敗退せしめた島村君も遂に退退せしめられることとなつた。近來碁の研究が非常に進んできたから、その力量の差が次第に微細になり、木谷君が強いの呉清源君が強いのといつても、高段者の碁を相手にしても、コミなしで白で必ず勝つて見せるといふことは絕對に出來ない程度であり、七段が初二段級の天才兒を相手にしても、一目で勝つといふのは至難な問題とされてゐる位であるから、ましてや高段者揃ひの本勝拔戰に於ては、コミで牽制されてゐる點もあり、ちよつとどうも五人拔十人拔といふ大事業は見當がつかなくなつてきた。關澤君こそ五人拔位は間違ひないかと思はれたが、それも見事に島村君にしてやられ、そのまた島村君も此處にアツサリ退けられてしまつた

今度は長谷川君の頑張る番だが此處に一つ大關につらいことが出てきた。それといふのが此大コミで、寧ろこれは白を持つてコミ無しで打つ方が樂な位なのだ。玄人が泣かされるのが此大コミで、鈴木秀子四段で、先相先の鈴木さんの白番と來てゐるから、長谷川君六目半といふ大コミを大分氣にしてゐるやうだ　だが吾人から見るとそれが非常に有難いところで、さうガッチリした勝負でなくては、觀せて貰ふ價值がないといふものだ、閨秀棋士といつても名實共に日本一の棋である鈴木奧さんが、白を握つてコミをたよりにガッチリと喰ひ下つた落がどんなものであるか、長谷川君これをアッサリと擊退するかそれとも大いに手古ずるか、十分に期待して頂きたい一局だ

タバコのみの 歯磨スモカ
「乘口一切 脂垢濤淨 白色白光 即妙皓齒 成就如是…」
大阪市此花區川岸町 スモカ齒磨株式會社
167

婦人疾患に
子宮内膜炎　月經困難症　白帶下　下腹腰痛み　腰部冷え
婦人藥 惠乃玉
慢性胃腸病に アルス胃腸藥

かぜにも 頭痛にも パポン錠
ねえ冷え
田邊發賣品

この一浴! 身体の眞を強め頑丈な肉体を創る
六一〇ハップ

健康増進に ネオトン
（發賣元 全國有名藥店）

日本香油
大阪 石津製

毛生え藥
發賣元 東京藥院

乳兒の不良便
綠便や粘便で
消化不良の赤ちやんは發育期に肝心な榮養を著しく阻害して、全身を衰弱せしめ、生命に關はる危險を招きますから、わかもとを直ちに服ませて、不良便を除去し、消化を佳良ならしめることが何よりも大切です。
ビタミンB複合體
錠劑 わかもと
わかもと本舗
W Ⅱ2—16

デシン
公衆衛生運動
傳染病は銃後の敵! 豫防消毒剤下の急務!! 對岸の火災視する勿れ!!!
〈目的用途〉 クレゾール石鹼液　キシレノール石鹼液　ホルマリン石鹼液　消毒用メタノール　消毒用キシレ
消毒藥は品質本位 ゴトー製にきまつた!!
在來の石油乳劑に優る 一、特許乳劑 一、ABCデシンエクトール
本劑はオルソクロールベンゾール配劑で製産大量、殺菌力強大、芳香性を發揮し大量使用に適す
△知名藥店に販賣す
發賣元 神戸市葺合區八雲通四丁目 株式會社 後藤デシン本舗

強力メタボリン錠
胃腸 脚氣 疲勞の恢復に
V.B₁の缺乏諸症に有効なる高單位療法
強力メタボリン錠は、その含有する強力にして且高單位のV.B₁（一錠中のV.B₁含有量〇・五瓱）を補給して、胃腸機能を快調にし、弛緩せる胃腸運動を活潑にして食慾を振起し、新陳代謝を旺盛にして疲勞を恢復し、脚氣の治療と豫防は固より、病竈細胞を賦活して榮養狀態を良好ならしめ、疾病の治癒を促進す。
胃腸病、食慾不振、病中病後、妊産・授乳時の榮養補給、其他の熱性並に消耗性疾患時　★100錠 300錠
製造發賣元 大阪市 株式會社 武田長兵衛商店　關東代理店 東京市 株式會社 小西新兵衛商店
41(1)862

おでき きづ ただれ
こぢれて治り難い古い傷や、慢性の皮膚疾患などに用いて…特に効果的な榮養軟膏です。
傷面に、榮養を與へて、短時日でキレイな肉芽と、表皮を新生し、傷痕を殘さずに治癒せしめます。
無痛、無刺戟性で、しかも…創面に密着せず、極めて容易に繃帶の交換が出來るのでたいへんに重寶です。
ビタミンAD應用の…
ハリバ軟膏
東京 田邊商店

臺灣日日新報
本日夕刊共八頁

三國同盟締結一周年

閑院宮殿下台臨

獨伊兩國大使主催 盛大な記念午餐會

【東京發同盟】去る二十七日、日獨伊三國が國際新秩序と世界平和の確立を期した同盟締結一周年記念日に當り豊田外相は獨、伊兩大使を交へて賀意の言葉を[illegible]に述べた、獨、伊兩大使側では二十九日午後零時半からの記念午餐會を擧ぐる閑院宮載仁親王殿下の臺臨を仰いで帝國ホテルに於いて盛大に催した、主催者側からオツト、インデルリ獨伊兩大使、兩國大使館參事官を始め在京獨伊兩國民の大部分、ハクレスコ、ルーマニア公使、ハーバン、ハンガリー代理公使等出席、來賓として豊田外相兼拓相、及川海軍大臣以下各閣僚、伊藤情報局總裁、外務、陸海軍の關係各局長を始め民間から[illegible]、中野正剛氏等各界名士、新聞通信社代表等約三百名出席、主催者、來賓交々三國旗を高々と組合せた食卓に着席して閑院宮殿下を御待ち申上げる裡に殿下には十二時四十五分御臺臨、オツト獨大使は

閑院宮殿下には昨年三國同盟締結祝賀會にも御台臨の榮を賜り、けふ亦茲に台臨の榮を賜りました　殿下の御優渥な思召しに對し深り乍ら御禮を言上致します

と正面に席を占め給ふ閑院宮殿下に恭しく御挨拶申上げた後、三國の喜びは幾多の試練を經て益々強固になつて居る實狀を讃へ數分間の力強い挨拶を終つて全員心からなる乾杯をすませ次いでインデルリ大使からも同様の挨拶があり、我が方豊田外相これに答へて感謝の言葉を述べ大使館内の人々は濃厚な友好的氣分にとけ宴外の爽かな空氣も流れ入つて一入興味を加へ午後三時頃盛會裡に散會した

友邦の助力を感謝

獨、伊兩國大使の挨拶

【東京發同盟】二十九日帝國ホテルにおいて閑院宮殿下の台臨を仰ぎ開かれた獨伊兩大使館の三國同盟締結一周年祝賀記念午餐會における獨、伊兩大使の挨拶並に豊田外相の答辭左の如し

インデルリ伊大使

閑院元帥宮殿下、日獨伊同盟條約第一周年を祝ふけふのこの席に、殿下の御臨席の光榮を賜はりましたことに對し深く感謝の意を表したいと存じます　殿下におかせられましては當時長く參謀總長として條約の締結に御力を致され、昨年の調印當日當地に於て殿下の御臨席の下に條約調印が取行はれましたことは私共の衷心から欣幸とした次第でございます、又同條約はその調印當日に畏くも詔書を渙發遊ばされ、これに依り條約にその崇高なる使命が闡明されたのでございます、三國同盟の目標は政治的分野に於ても亦軍事的分野に於ても總ゆる侵略的意圖を排擊するにあり、これと共にヨーロッパに於ては今日共同の大業のため各自有效なる助力を致しハンガリー、ルーマニア、スロヴアキア及びクロアチアの諸國民がこれに參加しアジアに於ては大東亞諸國民の協力の形を以て大日本帝國の負ふ大使命が認識せられ、その目標の確固が確認されました、而して正義に依つて保障され恒久な平和の新機構が世界に確保される暁には東亞に於ては大日本帝國がわれ〳〵と共通の理想に生きてその實力と強固な意思並に崇高な精神と國家機構の發揚とにあり、アジア大陸に斯かる平和と正義が齎らされることを確信するものである

オツト獨大使

閑院宮殿下に對し奉り昨年三國同盟締結祝賀會にも御台臨の光榮に浴し今日亦茲に御台臨の榮を賜はり殿下の何時に變りなき御寛厚な御情誼を拝し奉りみて恐しく御禮を言上致します、日本政府、軍及びその友情に於て相に變りなき大政翼贊會、各省[illegible]及び日本國民大衆は三國同盟締結一周年を記念され、三國同盟を回想すると同時にこれに力をつけられました、而して日本全國から寄せられました夥しき訪問祝賀に依つて日本國民の心の中にある三國同盟並に締結國に對する責任の用意ある友情が如何に強いものであるかを改めて知つたことは特に強い喜びであります、又この期間に於いて各位と共に感謝の念を以て三國同盟成立の當事者の一人たる松岡前外務大臣閣下を思ふ事は余とイタリア大使閣下の喜しく義務とする所であります、斯我が國民への[illegible]力は益々明瞭となり力強さを前進に依つて日本は大東亞共榮圏内に於ける力を決定的に建設され佛印に於ける軍事的協力に成功し大東亞に於ける日本の指導的地位を三國同盟締約國以外の列強にもこれを承認せしめることに成功されました同盟國國と肩を並べてドイツは今日ボルシエヴイズム撲滅のいくさを戰つて居り吾々は世界の健全なる社會新秩序建設に對し最も大いなる障害を除去し得る確信を益々固くするものであります

三國協力して邁進

豊田外相答辭の大要

一昨二十七日は日獨伊三國條約締結一周年に當る誠に記念すべき日でこの機會に催された盛宴に於いて兩大使閣下の三國同盟其他に就いて兩大使閣下におかれては我國が三國條約こそ帝國外交の基本であるとしてゐることを十分認識し、且つ帝國の不動の國是を實現するが爲めに本條約に明示されたる目標に向つて邁進せんとするの意氣を有することを感ぜられたことと存ずる三國條約の有する崇高なる使命と各締約國の牢固たる決意に就いては既に語り盡されてゐるので敢て繰返さぬが唯今兩大使閣下の述べられたる所は同時に日本國民の無言を率直に述べられたるものと申すも過言でない、この間何等[illegible]なきことと強く信じたい、本日この盛宴に際々たる中にも[illegible]なる空氣が漲ちてゐるがこの盛宴こそ各締約國が今後も相携へて協力を分ちつつ正義に立脚したる世界新秩序の建設、恒久的平和の保持の爲めに邁進せんとする決意の表徴であると確信する、吾等の前途には尚幾多克服すべき障害も豫見せられるのであるが日、獨、伊三國の相互の信頼に基礎を置く動かざる協力はこれ等を克服突破し必ずや三國をその理想の實現に導くものと深く信ずるものである

近衛首相に對し 伊首相答禮祝電

【ローマ二十八日發同盟】ムツソリーニ首相は二十七日の三國同盟一周年記念日に近衛首相に宛て祝電の答電を送り歐洲及び東亞に於いて新秩序建設に邁む日獨伊三國の[illegible]挨拶を交換した、内容左の通り

三國同盟は歐洲並びに亞細亞に於ける新秩序建設の共同目的に向つて邁進する日獨伊三國を緊密に結合せしめた、條約調印一周年に當り閣下が偉大なる日本國民に對しファシストイタリア及び余からの親愛の祝辭を正義の勝利に對する余の揺がざる信念と併せて傳達されんことを望む

ヒ總統より親電

【東京發同盟】ヒトラー總統は二十七日の三國條約締結一周年記念に當り近衛首相から同總統に寄つた親電の答として左の如き親電を寄せた

三國條約締結一周年記念日に際し余は茲に衷心より余並びにドイツ國民の心を滿たし居れる東方の大國家に對する親密の感情を吐露するものなり、帝國國民がその生存を確保し併せてその指導下に東亞民族の神聖な生存權を確立せんとする努め奮鬪せられつつあることに對しドイツ國民は深甚なる共感を抱くものにして余は日本が三國條約の諸締約國と提携することに依りその目的を達成すべく斯くて日本國民及び全東亞の將來の安全と繁榮とが確保せらるべきを確信す

あくまでも嘯けば

四川、雲南も攻略

支那派遣軍報道部長談

【南京二十九日發同盟】支那派遣軍報道部長談（二十九日午後四時發表）

重慶の擁護派は二十四日の社説に「湖南省の日本軍攻勢は軍事よりも政治的に重要である、蓋しその目的は日本國民の支那事變に對する倦厭的空氣を一掃すると共に國際間の印象を好轉せんとするにある」と論じてゐるが、これは重慶側最近の軍事に關する宣傳文句を飾りに赤裸々に告白したものである長沙の失陷が如何に自己國民の心理に強い衝擊を與へ又如何に國際關係に重大なる影響を及ぼすべきかは二十八日の重慶側が一齊に長沙の陷落を否定し[illegible]本城市では一街一行と雖も放棄せずと傳へたり重慶側スポークスマンが又長沙の失陷を否認に努めずと強辯してゐるのに照して明かである、然し事實は廿九日拂曉長沙南方四十粁の易俗河と浙贛線の交叉點、株州に突入、酒井、的野、石井、坂本等の諸部隊は午前十時三十分堂々と入城した株州は湖南方面より第九、第三、第七戰區への交通通信補給上の中樞たる株州の奪取は長沙の占領と相俟つて第九戰區の組織を根底より覆滅、又敵中央軍の戰力を徹底的に擊破して今後に於ける大々的奧地進攻の自由を獲得したる事實を嚴然と立證したものであつて恐らく重慶はその頭上に一大鐵槌を蒙つた思ひをしてゐることであらう、而して今こそその統帥部力、戰意戰力の低下を深刻に反省自覺し國際政局に對する正しき見透しを確立し速かに善處する所なければこの戰禍は四川、雲南の奧地にまで進展すべきことを覺悟せねばならぬ

西江作戰目的達成

南支軍悠々と轉進

【廣東二十九日正午發表】——西江右岸三埠及び四邑方面の我が作戰部隊は敵を擊摧し且つ機能物資は悉く搬出若くは燒却し盡し茲に完全にその目的を達成したるを以て軍の新企圖に應ずるため兵力を轉用し九月二十九日以降悠々作戰地を撤去し新作戰地に向ひ進軍中なり

【香港沖〇〇艦上にて二十九日發同盟】南支軍東面四邑方面作戰部隊指揮官は二十九日左の聲明を發した

皇軍一度び四邑の地に進攻するや抗戰を豪語呼號せる敵軍を忽ちにして擊破、抗日策源物資の悉くを押收し數日を出ずして所期の作戰目的を完遂せり、軍は既に赤坎、三埠、墨山附近に駐兵の要を認めざるを以て悠々轉進、兵力を〇〇に集結中なり然れども敵軍にして我軍撤退後再び蠢動を試みるに於いては斷乎としてこれを擊滅すべきことは言を俟たず

わが軍は作戰地域における敵の諸施設を根底より破壞し押收せる莫大なる物資の搬出も完了した僅々旬日足らずの短期間に所期の目的を完遂した西江作戰部隊は既に駐留の必要なき新戰區を撤して今や勇躍新たなる作戰地に向ひ堂々の歩武を進めつつある、わが軍の自主的撤去は重慶側の宣傳では即ち敗退となり或は日軍降伏となることは周知の事實で今回も不同樣のことを繰返すであらうが香港東岸では今次作戰が重慶に[illegible]を與へだしく動搖せしめ重慶政權の一角は[illegible]に動搖し同戰線は急速に崩壞の兆して重慶政權に大きな衝擊を與へてゐることを報じその狼狽振りは大なるに內外識者の眼を貫つてゐる、廣東を中心に結ぶ粤漢線北端では今や中支軍の一大攻勢が展開せられ既に敵の牙城長沙城頭に日章旗ひるがへり更に驀進わが戰鬪は益々戰果を擴大しつつある、この大敗と粤漢線南段を遮斷するわが南支軍の存在は如何に重慶に大なる衝擊を與へるかは想像に餘り將來における[illegible]によつて明かに察知せられる、南支軍將兵は今正に衝天の意氣を有するところ無敵の威武は益々抗戰重慶を窒伏せしむるであらう

西江の敵鎧袖一觸

南支皇軍意氣衝天

報道部長談 新作戰地へ歩武堂々

【廣東二十九日發同盟】南支軍報道部長談

敵に實力を以てする抗戰が絶望に陷つた重慶は現在只管第三國の援助に依存する他力本願に終始してゐるが殊に英國よりする武器資材品の供給は遅々として進まず徒らに抗戰を長期化せしむるのみである、然るに重慶はその窮狀に水の如き宣傳能力を誇大に吹聴して或は軍の充實を叫び或は[illegible]を呼號する努力見え透いた虚勢を張ると共に他面には強大なる日本の實力を殊更過少に評價して今にも長期戰に敗戰態勢するかの如き宣傳に躍起となりこれにより內は軍隊の士氣鼓舞と民心離反防止に汲々とし外は第三國の支援強化に狂奔してゐるのが抗戰重慶の現狀である、この時突如敢行せられたわが軍の作戰はその虚勢の假面を剝ぎ抗戰陣營の無能の實相を遺憾なく天下に曝さしめたものである即ちわが軍の相次ぐ東江右岸、敵東北方面の進攻に當り僅に西江右岸高地の天險に據る一部の敵にやや抵抗を見るべきものがあつた以外は鎧袖一觸その大部は擊滅せられ抗日軍の無力振りを暴露し南支の要衝と謳はれる三埠四邑の要地は悉くわが掌中に歸して重慶が多大の期待を懸けてゐた物資補給の敵密輸路の企圖も水泡に歸し既に

汨水强行渡河の青木部隊

四據點に巨彈の雨

南支陸鷲群長驅、衡陽を爆擊

【南支〇〇基地二十九日發同盟】昨日に引續き我が南支陸鷲部隊は二十九日午前午後に亙り湖南省の衡陽、郴州、廣東省韶關、英德の四據點を空襲し多大の戰果を收めた即ち快晴に惠まれたこの日先づ午前には櫻井、佐藤、稻垣、瀬戸の各隊は昨日に引續き、翼を並べ猛烈なる高射砲火を潛つて韶關の軍事施設を猛爆、午後には敵前線據地たる英德を攻擊した、一方北崎、大前、石橋、根本の各部隊は午後二手に分れ一隊は郴州（韶關西北二百粁）に向ひ飛行場六十餘棟の倉庫群、油脂類を爆碎、他の一隊は衡陽に飛び東西二ケ所の飛行場、兵舍群、倉庫群、軍需工廠等に猛爆を加へ數ケ所より猛烈なる火災を起さしめ全機無事基地に歸還した、郴州、衡陽は共に湖南省に於ける交通兵站線上の要地で殊に衡陽は今次湖南作戰に於ける敵基地として重要視されてゐたが二十八日の中支陸軍航空隊爆擊の後を受けて我が南支陸鷲群が長驅飛翔し再びこれに巨彈を見舞つたものである

海鷲湖南一帶を爆擊

【〇〇二十九日發同盟】中支艦隊報道部二十九日午後五時三十分發表

本日海軍航空部隊（佐藤隊長指揮）は湖南地區一帶に對し猛烈なる攻擊を敢行せり

敵の機雷倉庫爆破

【〇〇基地二十九日發同盟】佐藤隊長の指揮する海鷲群は二十九日午後湖南戰野に出動、約一時間に亙り洞庭湖デルタ地帶の敵陣地及び軍事施設に對し猛烈なる攻擊を敢行多大の戰果を擧げた、即ち斗留嶺（湘陰北方二十粁）附近においては敵機雷倉庫を發見、これに巨彈を投じて爆破、又烏龍咀（湘陰北方五粁）では敗殘の敵軍を發見、猛爆を加へてこれを殲滅した

敗殘の敵大軍を我鐵蹄下に蹂躙

敵九十九、九十二師潰滅

【〇〇前線基地二十九日發同盟】長沙南衞陣に當つてゐた敵九十九、九十二各師及び敗殘の大軍は長沙陷落を未だ知らず續々長沙へ集結しようとし來つたので我軍はこれを長沙北方及び東北地區に於いて邀擊我が包圍に遭つた敵は全く爲す所を知らず混亂狀態に陷り我が鐵蹄の下に蹂躙されてゐる、一方午前、長沙公路上に於いて敵第十軍主力と激戰を交へつつ同路に進擊した我が龍澤、森田、早瀬其他の部隊は二十八日夕刻長沙東北八粁撈刀河下流に到達二十九日早朝遂にその先頭部隊は長沙一番乘りの部隊と感激の握手を交した

大雲山の敗敵を陸鷲銃爆擊

【〇〇基地二十九日發同盟】〇〇基地を早朝出發したわが陸鷲の秩父、秋山、光岡、瀧野、宮田の各部隊は二十九日午前九時三十分頃大雲山の山嶽地帶を縫つて敗走する約七千の敵を發見猛烈なる銃爆擊を加へ壓倒的打擊を與へ又一方中川、木下、吉田等の新鋭部隊も同日午前十時三十分古市附近において敗殘兵約五千を發見地上掃射を加へて大打擊を與へいづれも全機無事歸還した

支離滅裂の敵軍

株州の北方で敵を邀擊

【〇〇前線基地二十九日發同盟】二十九日これを完全に占領した部隊は敗敵を追つて遠く株州に迫り石井、池邊、塚、花谷、新[illegible]の諸部隊は長沙方面より敗走し來れる敵を株州北方に邀擊、一兵も逃さじと猛擊を加へつつある敗敵は既に支離滅裂となり我軍はこれを殲滅すべく[illegible]ふが既に捕捉殲滅中である、又二十八日夕刻湘潭河上流の要衝易俗市を攻略後二十九日同河南岸に殿り中山、古東、東、井出、澤、[illegible]なる部隊はこれ等殘存軍を捕捉すべく去る二十四日突如若水附近上[illegible]

新編第三軍の一大掃蕩戰

南昌より有力兵團進擊

【〇〇二十九日發同盟】今次我が湖南進攻作戰に依り敵第九戰區は大打擊を受け第二十七集團軍中九十九軍及び他の戰區より增援した二個師も全く潰滅し去つたが茲に第九戰區軍として殘るは西正面の新編第三軍（軍長楊森元）及び武寧附近の第七十八軍（軍長夏楚中）の兩軍のみとなつた、我が有力[illegible]綺の諸部隊が一齊に進擊を開始し各所に敵を擊破、二十五日夕刻武寧西方に進出、二十六日には武寧を占領、戰果を擴大中であつたが二十七日及二十九日には突如南昌方面より有力なる新兵團が崩起部隊に呼應第九戰區の二個軍殲滅の火蓋を切つた即ち二十七日南昌方面より行動を開始した長野、永松、矢野、糸貝谷の諸部隊は靖新縣第三軍主力に向つて猛攻を加へつつ二十八日早朝錦江河岸、石頭岡（上高東方二十粁）に進出、又佐々木、光岡、平[illegible]、桂木の諸部隊は廿九日朝安義方面より行動を開始、新編第三軍及び第七十八軍の中間地區を楔形に突進して敵の側面に進出午後に至るや要衝奉新に迫つた

遺棄死體三千五百

【株州二十九日發同盟】株州を占領せるわが塚、酒井、花谷各部隊の二十八、二十九兩日の戰果判明せるもの次の如し

敵遺棄死體三、五〇〇、捕虜[illegible]、鹵獲品迫擊砲五、重機二五、輕機二四、その他多數

殘敵四千殲滅

【〇〇二十九日同盟特派員發】湘陰、長沙公路上の要地[illegible]（永安東方十八粁）附近に二十八日夜突如姿を現はしたわが重松、山本、木川、佐藤各部隊は二十九日夕刻には湖家山（湘陰西北十三粁）の陣地に據る第七十四軍の殘敵四千を殲滅、更に南に追擊を續行中である

米軍需生產品全部 英ソ兩國に供給

對獨作戰萎微に新計畫

【ニューヨーク二十八日發同盟】二十八日のヘラルド・トリビユン紙ワシントン電が權威筋の情報として傳へる所に依れば大統領並びに國防部當局等は英ソ兩國が積極的にドイツを東西兩方面から挾擊作戰を開始し得るやう英ソ兩國に對し今後三ケ月間の米國の軍需生產品の殆ど全部を供給する計畫を樹立中と云はれる、將來武器貸與計畫は米國軍需生產品の二分の一までを輸出し得る規定になつて居り殘り半分は米國陸海軍用として留保する義務があつたのであるが今や對獨作戰の萎微に鑑みこの新ゼスチユアに依り氣勢を擧げんとするものである、大統領は今週早々議會終了と中立法改正に就き協議を遂げる筈右新計畫に就いても協議を行ふものと見られるが既に議會においては英ソ兩國援助法本部の首腦等は右に關し協議を行つてゐたと云はれてゐる

ソ聯戰況發表

【モスクワ二十八日發同盟】ソ聯情報局二十八日午前發表

一、西部方面某地區においてソ聯軍一部隊は七日間に亙る激戰の後敵軍を潰走せしめたがこの戰鬪において敵歩兵十八箇中隊は大損害を受け死體一千二百を遺棄して退却した、又この激戰に於いてソ聯軍は戰車十八臺、軍用トラック四十一臺、迫擊砲七門を破壞した外砲四十八門、迫擊砲十九門其の他多數の武器を鹵獲した

一、西北部戰線某地區においてはソ聯軍は獨軍將士五百八十名を捕虜とした外戰車六臺を擱坐せしめ、砲三門其他を鹵獲した

英船に大損害

獨海空軍の活躍

【ベルリン二十八日發同盟】獨軍作戰本部は二十日から二十七日に至る週間戰況を左の如く發表した

一、獨海軍は西アフリカ沖において油槽船三隻を含む商船二十二隻合計十六万噸を擊沈又獨空軍は英船舶に對し十九万三千噸に上る大損害を與へた、北部戰線においては二十七日ソ聯兵二万を捕虜とした外戰車八十臺を鹵獲三十五臺を擱坐せしめた

一、黒海方面においては獨空軍はソ聯軍兵站線を妨害軍用トラック三百臺を破壞した

一、二十七日獨空軍はラドガ湖南岸に上陸を企圖したソ聯軍を猛擊一千噸級輸送船一隻及び小型船艇十五隻を擊沈した

獨軍の先鋒部隊 ドネーツ河線へ

【ロンドン二十九日發同盟】二十九日當地で傍受したヘルシンキ放送に據れば獨軍先鋒部隊は既にドネーツ河の線に到達、他の部隊はポルタワ・ハリコフ鐵道目ざして猛進中でありハリコフは東西より包圍せられる形勢となつた

無線機器・眞空管
東京電氣株式會社

督府の豫算編成

財務局查定 來月早々內示

督府財務局では昭和十七年度督府豫算編成について主計課查定を一應打切り目下課長查定を急ぎつつあるが、來月三、四日には結果を總督、長官に上申の後各局部に對して查定內容を內示、之に基く復活會議は七、八、九の三日に亙つて開かれる豫定

第五回人口問題全國協議會

十一月中旬開く

【東京發同盟】財團法人人口問題研究會では時局下わが國の人口問題の重要性に鑑み人口政策施行の促進を圖り、その適正な實施運用に資するため來る十一月十四、十五日兩日東京に於て官民多數の人口問題に關する權威者を集めて第五回人口問題全國協議會を大々的に開くこととなつた、同日の協議會では『わが國人口並に人口政策に關する諸問題、特に人口政策確立要綱に關聯して』を議題とし各特殊部門に分けて參會者の意見の研究の發表及び討議が行はれるが人口問題が注目されてゐる折柄、その成果は非常に期待されてゐる

イラン前國王印度へ

【ニューヨーク二十八日發同盟】INS通信テヘラン電によればイラン前國王レザ・シャー・パフレヴイ氏は二十八日カンダル・アバス港から便船で印度に向つたが印度よりアルゼンチンに亡命するものと見られる

石炭配給調整 原則を改正

【東京發同盟】商工省では最近の船腹不足その他の理由による石炭需給過逼に鑑み石炭の消費抑制並に小口需要向けの配炭減少を行ふこととなり三十日附をもつて石炭配給調整原則を改正、原則として十月一日より實施することとなつた、右改正により今後月額八百五十噸以上使用のものは新たに商工大臣より期間を定めて使用制限を受け貯炭分に對しては貯炭を命ぜられる外、從來の指定仲介販賣の外に指定小賣販賣を設置して小賣部門（販賣指導部）に基いて販賣せしめる、尚指定仲介販賣及び指定小賣販賣に屬せざる販賣業者に對しては從來月額二百噸以上販賣の場合についてのみ商工大臣の許可を要したものを月額三噸以上販賣するものは總て地方長官の許可を必要とすることに改正した

人事

▲關口鯉吉氏（東京天文臺長）三十日南部より歸北（朝鮮號）一日歸京
▲赤川正三氏（日本鑛業開發會社重役）▲池田一夫氏（臺北鐵道重役）三十日海南島より寄港（朝陽號）
▲井出都紀氏（臺東製糖理事）二十九日來北（朝陽號）

今日の府報

▲告示第八百六十九號臺灣銀行臺北州派遣員事務所に於ける外國爲替業務廢止屆出の件▲臺灣府令酒勾運送外▲臺北州報發行

大東亞共榮圈
確立は無電技術の完成へ！
新學期 晝・夜間部 十月十日
入學資格
專門部・中三修了者以上
普通部・尋常小學卒了以上
無試驗入學許可 入學案內要三錢
創立昭和九年・訓育・體育・教育の理想的編成機關
武藏野高等無線電信學校
校長 正四位 工學博士 建部光麿
東京市澁谷區代々木[illegible]

南方關係優良圖書

中アジアの風雲
文部省推薦
文博內藤智秀・三橋富治男・田邊宗夫・尾崎三雄・村田昌三著
中部アジアの國土と住民、中央アジアに於ける英露の抗爭、アフガニスタンの大觀
規格判B6 上製 奥製 價二・三〇 送料十四錢

滿洲の今昔
新刊
文博 矢野仁一・園田一龜共著
滿洲史概說 現代以前の滿洲 ロシアの東方經略 北滿洲 ロシアの滿洲使略 日支交涉の時期
價二・二〇 送一四

支那の歷史と文化
文博 矢野仁一・內藤湖南共著
規格判B6 價一・五〇 送一四

動く蒙古
文博 有高巖・高木賢太郎共著
價一・〇〇 送一四

東京市神田區駿河臺三丁目
目黑書店

印度日記
尾高鮮之助著
著者は佛教美術の源流を訪ねて、佛領印度支那・シアム・ビルマ・セイロン及びアフガニスターンの各地を巡り、丹念な實地調査によつて、古代文化の遺蹟を調査したる其の報告書は本書である。
菊判上製函入・寫眞百十頁・本文五六〇頁 價五・〇〇 送三三

蘭印風物誌
小津幸雄著
蘭領印度の多角的な富源は世界的に有名であるが、著者は彼の地に在ること十有餘年、その間具に觸れて書き集めたものが本書である。
四六判美裝・寫眞六十・本文二八〇 價二・〇〇 送一四

フイリツピンの政治經濟問題
國際經濟學會編
米國のフイリツピン政策……細野軍治
フイリツピンの獨立再檢……吉村正
對論の經濟的根據……友岡久雄
新刊・判上製・函入 價一・五〇 送一二

東京市神田區駿河臺三ノ六
刀江書院
振替東京七三一一八

【博文館時局叢書】

佛領印度支那事情
博文館編輯局編
日佛印共同防衛に、俄然全世界注視の的！！大東亞共榮圈の一環として起ち上つた佛印の全貌を見よ！

蘭領印度事情
東亞民族の生命線、世界の寶庫「蘭印」とは如何なる所か？今や蘭印事情を知らぬ者は日本人ではない

日本外交秘話
外務省情報部 中田千畝著
維新以來我外交の秘話を集大成

海南島記 或る軍醫の診療手記
海軍軍醫少佐 正岡孝幸著
海南島作戰に從軍した海軍々醫の手記

東京日本橋
博文館

畝傍書房 最新刊

南海の魚
靜岡縣水產試驗場長 三浦定之助著
一般にあまり知られてゐなかつた南洋の近況、南太平洋の魚類、南洋の漁民の生活等を、著者は邦人壓迫の聲を聞きつつ、身をもつて敵性國家內の雰圍氣で最も[illegible]した體驗せられた。その尊き經驗のカズ〳〵を、ナマナマしく、素朴に、ユーモアを漂はせながら興味深く語る。一讀！小說より面白く、しかして南方認識を新たにするもの、海國民必讀の書。
B6判假裝四一六頁 價二・〇〇 〒・一四

海底物語
W・ビーブ著 園田一匡譯
世界的熱帶深海研究家たる著者が、前代未聞の三千呎の海底に降下し、人間の眼に未だ觸れたことのなかつた深海を探ることに成功した近代世界に於ける快挙の報告書である
B6判假裝 四五〇頁 色刷版・寫眞版十三葉 價二・五〇 〒・一四

東京・麴町・九段 振替東京[illegible]

社說

配給部面の調整と闇の絶滅

劃一的な實績主義を排す

一

政府從來の物價政策は專ら價格政策のみを統制する段階のそれであつて既に戰時經濟の要望に完きを期せんとせば物資配給統制と物價のそれが今日の如く間然する處があつてはならない。高度の統制經濟の下にあつては統制の中心は價格現象と共に物資需給の調整が基本とされることは論ふ迄もなく從つて經濟違反の根本的解消はその對策を物資需給の圓滑化に求めねばならない。先頃臺北市商[illegible]が[illegible]内の各業態別業者一千[illegible]に就き經濟違反をなし[illegible]の實情を業者の回答に求めた事は誠に時宜を得たもので二十七日附[illegible]の回答を綜合するも結局は配給部面の調整を要望する點が多い。

二

就中吾人の注目を惹く點は『現在[illegible]が配給である關係上自分の必要な物又は物品のみを買ひ不必要な物は要らないと云ふ譯に行かず今直ぐには不必要な物でも買つて置かねばならない場合が困ります』『現在の樣な實績主義の配給方法よりも地方々々の實情により人口、世帶、文化の程度等を考慮し業者を單位とせず消費者單位に配給されるやう希望します』等であつて此の業者の聲は物資配給機構の現段階に大きな示唆を與ふるものである。即ち現行配給統制上の缺陷として指摘したい點は『劃一配給』と『實績主義』の點であつて戰時物資需給の調整對策としては生產增と供給增に頼る事が積極的に最も望ましい處であるが實際問題としては供給增大に頼り得る物資の種類並にその量には限度があり且つ急速の要請に即應し得ない實情もあるので必然その對策は消費規正の徹底に歸せられねばならない。

三

然るに劃一的所謂『配給品』と稱するものは量の多少と入用時期如何に拘らず平等に配給されるものであつて、需要者側の實情を全然無視した方法で、又業者の過去の取引實績による配給方法、即ち『實績主義』なるものも同樣な憾を免れない。生產增、供給增が急速の必要に應じ得ない現狀に於ては是非とも消費規正の徹底に俟たねばならないのであるが、右の如き劃一主義や實績主義による配給は非常に無駄が多い。需要の量と時とに應じ得る有效的な合理的配給が望ましいのである。消費者本位の配給制度への轉換こそが消費規正の徹底を期する所以であり強つて『闇』撲滅を徹底たり得るものである。

臺灣產組規則改正律令

けふ公布

協同組織から國策機關へ

重要改正點　聯合會設置ほか四件

待望の臺灣產業組合聯合會設置問題を中心に時局下產業組合の公益機能に十全の發揮を期するべく多年懸案の產業組合規則改正律令が愈々三十日附府報で律令第七號を以て公布された。改正の主要點は既報石井殖產局長談の中にもある如く（一）聯合會の設置（二）統制規定の設置（三）役員の官選（四）[illegible]（五）[illegible]の遂行以上五點に要約されるが產業組合は元來庶民階級の經濟資本を糾合して資本家に對抗せしめ組合員共同の福利增進を目的とした協同組織であつて本島の庶民金融界の[illegible]に貢獻する[illegible]る地方の[illegible]產業組合は資金[illegible]に喘いでゐても他の地方の產業組合[illegible]は資金を之に融通し得ないと云つた不利不便あり又組合員の產業經[illegible]もなく且つ公益機能として[illegible]の產業組合に對する强力な自治監査の機能もなく之等の法規上の缺陷を補ひ以て產業組合を戰時經濟の遂行に萬全の協力を果さしむべく全島の產業組合を構成員とする臺灣產業組合聯合會の設置をみる事となつた[illegible]

[illegible]

石井殖產局長談

產業組合規則改正

新律令の内容と目的

本島多年の懸案であつた臺灣產業組合聯合會設置問題が本日（三十日）臺灣產業組合規則改正律令の公布に依り解決せられたことは洵に邦家の爲め御同慶に堪へない。此の機會に臺灣產業組合規則が如何なる目的と内容を以て改正せられたか又本島產業組合は多難な時局下に於て如何なる理念の下に今後進展して行くべきかに付て一言申上げたいと思ふ[illegible]

[illegible]

一、聯合會の設置　[illegible]

二、統制規程の設置　[illegible]

三、役員の官選　[illegible]

四、[illegible]

五、[illegible]

タンニンの新資源

含有量の多い木麻黄

タンニン含有資源として活用されてゐる相思樹よりも木麻黄の方が含有率が多いとして新竹州を第一に各州で防風林に好適の樹木とされてゐるが、最近[illegible]工所[illegible]部長は[illegible]

[illegible]

農業團體の統合へ

來議會に法案提出

井野農相談

[illegible]

【食糧對策】[illegible]

【蠶絲對策】[illegible]

【水產對策】[illegible]

【山林對策】[illegible]

【團體統合問題】[illegible]

英蔣聯防に踊る

カー駐支英大使

泰國攪亂を狙つて盛んに英蔣側から宣傳してゐる英蔣ビルマ共同防衛とか蔣軍二萬ビルマ進駐とか[illegible]かと思つたら、愈々十月には重慶で英蔣ビルマ聯防會談を開催するといふ。モスクワ會[illegible]

カー大使と云へばすぐ[illegible]

それといふのも彼[illegible]

サー・アーチボルト・ジョン・カー・クラーク・カーと[illegible]

【寫眞はカー大使】

本島の對南方貿易

積極的輸出增進へ

中嶋財務局長訓示要旨

[illegible]

きのふ稅關鑑定官會議

各稅關の取扱統一

[illegible]

臺灣紙業總會

景尾工場は十月に竣工

[illegible]

海上計畫輸送認識へ

官民懇談會

[illegible]

雜貨・雜品十月積

七、八日頃打合會

[illegible]

東邦金屬の操業本格化

[illegible]

臺北州生藥配給組合結成

[illegible]

セメント加工組合總會

[illegible]

日佛印協力

佛印資源調査團

總數百名・期間一ヶ年

[illegible]

商況（廿九日）

株式　活氣なく平凡納會

兜町後場況

[illegible]

東京短期後場

[illegible]

大阪短期後場

[illegible]

大阪長期後場

[illegible]

《北浦展望》

[illegible]

ヘイタイサンニ
オテガミカコウ

十月號　大評判

主婦之友

家庭防空早わかり

特輯　毛絲編物

（特輯）婦人子供服（型紙つき）作方

平町式・和服裁縫獨習法

非常時向お惣菜料理集

增收に成功した家庭の實驗

子寶灸

戰時下の娠教育と結婚

五十五錢

主婦之友社

普通文官

講義

臺灣在住獨學者の福音

龍門！每年春施行の普文試驗

――速成科で普文征服へ！――

前年も會員五百餘名合格・率先就職！

臺灣總督府では、每年四月臺北・臺中・臺南の三廳所で普通試驗を施行、其の都度合格の本會々員は、直ちに判任官として、颯爽と諸官廳に奉職して居る。

今や日本は皇戰五年、大東亞共榮圈の確立に邁進しつゝあり、爲めに官界は益々有爲の少壯者を求めて居る。

本會は之等官吏の養成に貢獻すること廿九年、其の歷史と經驗により合格者を輩出せしむること既に一萬數千名の多きに達した。

東京市神田區駿河臺

日本大學法制學會

偉功輝く本間部隊

譽れの殊勲甲　佐藤、高橋兩少將

【東京電話同盟】既報通り第十一回支那事變生存者論功行賞（陸軍）の發表があらせられ三十日[illegible]今回の論功行賞に浴したものは去る昭和十二年十一月杭州灣上陸を敢行、以來南京攻略戰、徐州會戰等に參加し轉戰して山東方面の警備に任ずる一方[illegible]に返つて大陸に勇名を馳せた末松茂治中將を始め殊勲甲に敍せられた[illegible]部隊に屬して勇戰奮鬪した三中將、六少將並に[illegible]初上海、吳淞附近に敵前上陸を敢行、永く數十萬の敵軍を[illegible]徐州會戰等に參加し[illegible]の各作戰、昭和十四年冬季作戰等に參加して赫々の武勲を建てた山脇（藤田）部隊及び本間（雅）部隊[illegible]南京附近の戰鬪においてよく敵の[illegible]その間一部隊をもつて杭口附近の[illegible]徐州會戰等に參加し次いで中支に轉戰して[illegible]漢線の警備に從事して偉功を樹てた本間（雅）部隊に屬する軍人（將官を除く）及び軍屬でその內金鵄勲章授與の榮に輝くものは四千九百七十三名、右の內佐藤、高橋兩少將を始め將兵百十名に對しては特に抜群の武勲を與へ殊勲甲の榮譽に浴せられた（寫眞上は佐藤少將、下は高橋少將）

吳淞上陸、徐州會戰　武漢攻略に武勲

山脇（藤田）、本間部隊輝く戰歷

山脇（藤田）部隊

【東京電話同盟】今回の論功行賞に浴した山脇（藤田）部隊及び本間（雅）部隊の輝く戰歷は左の通りである

事變勃發直後上海方面の戰況が急を告げるや同部隊は藤田中將の指揮下に第一線兵團として直ちに派遣され八月二十三日未明吳淞南方黃浦江西岸に世界戰史を飾る果敢な敵前上陸を行ひその後晝夜を分たず力攻を重ね九月始めには吳淞鎭山城一帶の敵を擊破して後續部隊の上陸を容易にし續いて九月三十日頃羅店鎭の敵陣を拔き頑強な三箇の[illegible]陣地を攻略した後、翌十月一日には劉家行を占領次いで大場鎭西方一帶の敵を擊破し[illegible]ると三箇同地を占領續いて[illegible]月二十六日同地を攻略續いて追擊に移り蘇州河に進出十一月八日同河を渡つて翌九日から再び追擊に[illegible]轉じ十二日には南市を占領、十四日太倉に入りその後首都南京に向ひ十二月十三日南京城光華門、武定門を占領、更に十三年三月には三十山系の敵を擊攘同年の徐州會戰には南京方面から北進して五月二十日淮河を渡り[illegible]主力を以て淮南に作戰を展開淮南の攻略及び[illegible]附近の敵二箇師を殲滅した、續いて同部隊は武漢攻略戰に參加先づ揚子江の安全を確保する爲め荻港、大通、池州附近の敵前上陸を敢行し[illegible]州に向ひ六安[illegible]を進撃十月四日[illegible]山北方地區から敵を擊破して信陽西北方地區に進出信陽攻略に偉勲を建てた、同月二十八日大洪山を突破して花園附近に進出敗走の敵を追ひまくり[illegible]附近に出て武漢三鎭の[illegible]の警備に任じ十四年春の四月攻勢を見事反擊五月一日から攻勢に轉じて襄陽一帶の敵陣を拔き[illegible]軍の主力を殲滅西部に向ひ一部は五月十一日[illegible]を占領同部隊も[illegible]會戰に偉勲を建てた、續いて同年九月五日、江南方面地區に轉戰された[illegible]作戰には一部支隊をこれに參加させ[illegible]湖上から[illegible]附近に敵前上陸を敢行その後勢を驅つて[illegible]沙東北方に突進[illegible]

本間部隊

同部隊は[illegible]兵團として今事變の緒戰となつた[illegible]に[illegible]した歷史的な部隊であつて[illegible]附近の[illegible]を南苑附近の[illegible]一部は[illegible]天津附近に向つて[illegible]元[illegible]の二十九軍を[illegible]して平津の[illegible]を[illegible]月[illegible]一月中旬[illegible]から大別山[illegible]間の[illegible]主力を[illegible]日に至つて[illegible]したのである

皆よく働いてくれた

本間軍司令官感激を語る

[illegible]

勇敢な部下こそ殊勲

功三、重光章の重藤中將

【福岡電話同盟】第十一回生存者論功行賞で功三級重光章の榮譽に輝く重藤千秋中將は事變勃發の昭和十二年九月上海に敵前上陸しクリークに據つて抵抗する頑敵を擊破しつつ[illegible]中支戰線に勇名を馳せた將軍で今は福岡市[illegible]町一の三十三の自宅で[illegible]身を養つて居るが恩賞に浴した感激を次の如く語つた

部下將兵は一兵に至るまで實に勇敢で地形的に不利な狀態下にありながら一團となつて一步たりとも退かず遂に突擊路を開いて軍の戰局を有利に展開してくれた、戰死した部下こそ殊勲で私など何の働きもして居ない者にまで破格の恩賞を賜はり恐縮に堪へない、今更ながら皇恩の廣大さに感激して居る（寫眞は重藤中將）

陸の魚雷で勇名

殊勲甲功三級　感激深き高橋少將

【東京電話同盟】殊勲甲功三級の榮譽に輝く陸軍少將高橋[illegible]氏は長野縣出身で本年五十六歲、重砲、迫撃[illegible]部隊に屬して安慶一番乘りに陸の魚雷と謳はれた快速部隊長である、今回の榮譽を東京中野の自宅で拜した同少將は直ちに衣服を更めて謹んで[illegible]を遙拜した後感激の面持で次の如く語る

不肖の身を以て殊勲甲の榮譽を授けられた事は只恐懼の外ありません、これ一重に部下將兵が一致協力與へられた任務を完遂に挺身してくれたればこそで決して自分の功ではなく部下の勲です、今私のために戰死し又傷ついた部下に思ひを馳せる時斷腸の思ひあるのみです、自分は事變勃發後間もなく十二年九月から翌年九月まで部隊長として中支作戰に參加しこの間湖口、[illegible]攻略作戰、九江の湖江作戰等は恐らく稀有の激戰であつたと思ふがそれだけに終生忘れる事が出來ない、自分には本當の子供はないが部下は全部自分の子供だと思つて居るし今は護國の鬼となつた英靈の冥福と傷ついた部下の快癒を祈りつつ命の續く限り皇國のため盡したいと考へて居る

豪膽な高橋部隊長

田中中佐談「感泣して居られやう」

〝羅店鎭から[illegible]十里、いや何百里だらう、僕は高橋部隊の第〇〇隊長として、共に高橋部隊長の指揮下に奮闘して來たんだが、とても勇敢な部隊長だつた〟——

殊勲甲に輝く高橋部隊長少將を語る軍司令部附田中中佐も又殊勲の恩賞に[illegible]

百里といふ間部隊長は殆んど馬に乘られなかつた、兵隊と共に泥田の中に草鞋ばきのそのいでたちで終始部下と共に奮闘された、たしか彭澤の戰鬪だつたらう、當時の敵正面兵力は約十箇師位あつたかと思はれたんだが、この攻略戰に部隊長は步兵一箇中隊を自らひつさげその背後に迂回[illegible]つた、當時突外、意表に出るとはこのことだらうが、この大膽な事をやつてのけられたことを考へても部隊長の剛膽さはわかるだらう、そのときの部隊長は全身、頭から首まで、文字通りの泥ンこだつたが、いまでもワシは當時の[illegible]が想ひ出されて[illegible]思ひでみる九江、安慶、馬頭鎭[illegible]部隊長の勇猛ぶりに頭の下がる思ひを偲んで見るとき、今更のやうに部隊長の作戰の巧妙さを語はずにはをれぬ、部隊長殿も恩賞に今頃感激に咽んでをられることだらう（寫眞は高橋少將）

海上警報

【九月二十九日午後八時三十分臺灣總督府發表】七二〇粍の强烈な颱風は二十九日午後六時[illegible]一三〇度即ち石垣島[illegible]約七〇〇粁の海上にあり時速二十粁にて北西に進み次第に石垣島方面に接近する模樣、本島[illegible]海上の一般船舶は[illegible]

護國の神靈仰いで　つくせ銃後奉公

島都・祈願祭など諸行事

來る十月三日は昭和十三年、軍人援護に關する勅語を賜はつてから丁度三年目の記念日にあたるのでこの日から七日迄の五日間に亘り全國一齊に銃後奉公強化運動が實施される、急激なる世界情勢の推移に伴ひ今や帝國は[illegible]大理想に基き銃後國內態勢の整備強化を圖り支那事變處理の完遂、大東亞共榮圏の確立に邁進すべき秋、ここに[illegible]

△出征軍人武運長久祈願祭　七日午前九時より新公園で市民[illegible]

△國民奉[illegible]　七日午後七時より公會堂で舉行する、詳細は追つて決定する

△勅語奉讀式　官公署、學校、團體、會社、工場等にあつては三日勅語奉讀式を舉行する事

△默禱　三日正午のサイレンを合圖に各自その場で戰歿軍人の英靈を追悼し傷痍勇士の平癒、出征軍人の武運長久を祈願する爲默禱を捧げる事

△奉公班行事　常會で左記事項を其の班適當なものを選んで申合せの上實踐されたい

一、神社參拜

二、班內出征軍人に對し慰問文を發送すること

三、出征軍人遺家族の手傳ひ又は訪問をする事

四、バス又は汽車乘車の際は傷痍軍人に座席を讓ること

△『銃後奉公の誓』を朗誦すること　政府で別項の如く『銃後奉公の誓』を新に制定されたので奉公班の常會の終りには朗誦されたい、これに今後の常會にも機會を見て時々朗誦されたい

[illegible]

銃後奉公の誓

皇室のもと、一億一家、心と心、力と力とをひとつにして銃後の守りをかためます

朝夕に皇軍の勞苦を思ひ戰線に送る銃後の眞心として慰問文と慰問袋とを絶やさぬやうに致します、その留守宅の力にもなりませう

遺族の家を勵り合つて、英靈の忠誠におこたへ申します、傷痍軍人には心からの敬意を表しその再起奉公に力を添へませう

銃後も國防の第一線、元氣にむつまじく、將來の大きな希望に生き、現在の苦難を堪ひぬきませう

標語ポスターを配付

島都では傷痍軍人座談會

〝護國の神靈を仰ぎ銃後奉公の誠を致しませう〟の標語を掲げて來月三日から七日迄五日間に亘り銃後奉公強化運動が今回一齊に實施されるが、本運動の[illegible]傷痍軍人援護精神の[illegible]に資するため[illegible]前記標語入りのポスターを作成[illegible]

[illegible]

先生達の神樂講習會

新竹市で實施

【新竹電話】新竹神社では十月二十八日の秋祭には毎年鄕土神樂を奉納して來たが本年も奉納するに決定來る十月三日から九日迄一週間[illegible]

忠靈の遺勲に感謝

功三、大綬の恩賞に輝く　末松茂治陸軍中將

【小倉電話同盟】論功行賞の發表により功三級大綬の恩賞に輝く末松茂治陸軍中將（小倉出身）は現在[illegible]

[illegible]

歷戰の人情部隊長

佐藤部隊長を瀧本少佐語る

[illegible]

皆部下のお蔭

功三、重光章の秋山少將語る

[illegible]

山本事務總長が放送

あす・第三回のラジオ常會

[illegible]

塵芥もお國の御用に一役

[illegible]

虚禮送迎ぜひやめませう

國民的儀禮には進んで參加せよ

奉公會臺北市支會が檄

[illegible]

名譽の功勞章

臺北市聯合鄕軍七氏に傳達

多年會務に盡瘁しその成績優良だつた[illegible]臺北市聯合分會管內の左記七氏に對し[illegible]より名譽ある功勞章が授與されたので[illegible]分會長、[illegible]の下に[illegible]式を舉行[illegible]村田大佐より七氏に對し[illegible]了した【寫眞は傳達式】

元陸軍上等兵　勳八等　大內福太郎

元陸軍一等兵　片野友[illegible]

豫備役陸軍少尉　正八位　田宮[illegible]助

退役陸軍少尉　松本[illegible]男

豫備役陸軍中尉　從七位　淺井[illegible]

元陸軍一等兵　佐竹[illegible]

豫備役陸軍少尉　從七位勳六等　杉原[illegible]

新竹にも勤行青年訓練所

關係者が開設打合

【新竹電話】[illegible]

新竹州の馬飼育管理品評會

來月市郡毎に

【新竹電話】[illegible]

日東印カーボン紙

臺北秋競馬

第三日目の成績

臺北秋競馬第三日目は前日に引續き二十九日午前十一時から北投競馬場で施行された、成績は次の通りである

◇第一回抽五十八百米（四頭立）　1イケヅキ（[illegible]）二分一五秒四

[illegible]

ラヂオ

晝

[illegible]

夜

[illegible]

今日の映畫

國際館　新世界館　大世界館　芳乃館　第二世界館

[illegible]

けふの天氣

[illegible]

謹告

高雄州屏東郡里港庄里港一六七番地戶主陳蜈蛉氏母堂故陳莊氏阿隨刀自去ル十四日死亡被致候條辱知諸君ニ謹告候也

追而葬儀ハ來ル十月四日午後二時里港東國民學校ニ於テ執行可仕候

九月三十日

葬儀委員長　菊山計次郎

卒啓　老母阿隨儀豫テ容態勝レズ自宅ニテ靜養中ノ處去ル十四日享年八十四歲ヲ以テ遂ニ永眠致候ニ付十月四日（正宜三七日忌）午後二時ヨリ里港東國民學校ニ於テ本葬儀式執行可仕候間此段謹ミテ御通知申上候

昭和十六年九月三十日

高雄州屏東郡里港庄里港一六七番地

男　陳蜈蛉

孫　天道　地道

同　人道　富道

同　貴道　華道

同　森德　英彥

[illegible]

友人代表（五十音順）

衆議院議員　龜井貫一郎

貴族院議員　河原田稼吉

[illegible]　木村增太郎

伯爵　兒玉秀雄

陸軍中將　兒玉友雄

高雄州知事　坂口主稅

[illegible]　坂口眞佐子

子爵　宍戶功男

海軍大將　竹下勇

府評議會員　陳啓貞

府評議會員　陳鴻鳴

陸軍大將伯爵　寺內壽一

屏東郡守　砥上坦

[illegible]　森元成

[illegible]屏東支局長　小笠原昌壽

里港庄長　菊山計次郎

燈火管制に竹腰の黑幕

安

冬物新柄陳列會

染尺地　玉蟲コート地　西陣御召　シボリ着尺地　結城・大島各種

名古屋帶地各種　銘仙着尺地　男女御袴地　仙台四ツ身絣・帳　紋付地・蚊帳

十月一日ヨリ三日間

山城屋吳服店

台北市榮町二丁目　台灣銀行隣　電3695番

電話番號變更廣告

從來の七九二〇番は廢止し七一七六番に變更

臺灣總督府國民精神研修所

產科　婦人科

福生堂醫院

臺北市太平町四丁目[illegible]　醫師[illegible]　電話四六二[illegible]番

世界馳名　[illegible]リウマチ[illegible]

九一四內服新藥

台北市永樂町神農氏大藥房

殖產局長談

[illegible]

ヘイタイサンニ

オテガミカコウ

[illegible]アテナイン[illegible]

非常時向お惣菜料理集

增收に成功した家庭の實驗

子寶・灸・駒井一雄

戰時下の服教育と結婚

[illegible]小島政二郎[illegible]

五十五錢

主婦之友社

敵の鐵條網を衝き勇進する小笠原部隊勇士（湖西江作戰）

各地綜合版

臺中州下 バス合同纏らず
業者、州當局に一任
滿富警察部長解決に出馬か

【臺中電話】臺中州下バス合同は既報の如く州下を四ブロックに區分し夫々業者が寄々協議中であつたが員林ブロックを除く彰化、臺中、豐原の三ブロックは複雜な事情が介在し容易に纏まらず遂に無條件で州當局に一任する事となつたので州當局ではバス警察の再編成に際し業者の融和を期し[illegible]力國策を遂行[illegible]業者の時局[illegible]有終の美を收め[illegible]滿富警察部長自ら乘出し解決の勞をとる事となりここ一ヶ月の内には大[illegible]路線、車輛の評價その他[illegible]會社の設立準備を終へ遲くとも十一月下旬には店開きを出來るものと見られてゐる、同會社設立資本金は[illegible]一億として一會社五十萬圓（[illegible]）總額百萬圓となる[illegible]である

鍛へられた"身と魂"
高雄州 指導者錬成會閉幕

【高雄電話】高雄州第一回指導者錬成の最終日二十九日は前日同様朝の西子灣に於ける禊を始め神前行事を施行し十時からは山田[illegible]より郡國[illegible]に關する講義を受け、十一時からは壽山館[illegible]で[illegible]を行ひ午後は錬成を顧みての座談會を催し三日間に亙つた身と魂の錬成に依る收穫、今後の州下奉公運動の運用につき忌憚なき意見の交換をなし好成績を收めて二時半終了、三時より閉會式を行ひ僅三日間ですつかり鍛へられた一行は奉公運動への熱烈な意慾を胸一杯に輝かして山を下り茲に錬成の幕を閉ぢた

新に參與、奉公委員を依囑
高雄市支會で

【高雄電話】皇民奉公會高雄州支部ではこの程高雄市支會參與及び奉公委員を次の如く囑託した

皇民奉公會高雄市支會參與を囑託す　本田喜八

同奉公委員を囑託す　大竹文輔

玉里郡で定時常會

皇民奉公會玉里郡支會[illegible]

時局常會に決定を見た

一、支會常會　每月二十五日
二、[illegible]常會　每月二十八日
三、部落會常會　每月三十日
四、奉公班常會　每月一日

傷痍軍人の座談會

【嘉義電話】嘉義市では二十九日午後八時から公會堂で市内居住の傷痍軍人を招き市から玉川[illegible]出席して座談會を開催、種々意見希望を交換して十時過ぎ和氣藹々裡に散會した

勞務動態調査 準備に大童

[illegible]來る十月一日を期し全島一齊に施行される勞務動態調査および青壯年國民登録に[illegible]

勤報在鄕青年 隊員訓練點呼

【[illegible]】[illegible]午後一時から[illegible]

司法保護事業大會
臺南州下 關係者きのふ會合

【臺南電話】臺南州下司法保護事業關係者の意見を聽き懇談を遂げ[illegible]し時局下一段と司法保護事業の[illegible]を圖らんとする第四回臺南州司法保護事業大會は臺南州[illegible]保護會主催で二十九日午前十時より臺南市宮古座で開催、來賓として[illegible]臺南地方法院[illegible]堀田法務局行刑課長、古山高等法院檢察官長、那須市長、江草[illegible]、[illegible]隊長、府評議會員[illegible]ケ濱會長、伊藤[illegible]、大朗同副會長、緒方、石橋、小野田[illegible]各課長以下[illegible]州下の保護委員、街庄長[illegible]

[illegible]市部保護事業關係者約四百名出席し一番ケ濱會長の挨拶、功勞者の表彰、被表彰者中本榮次郎氏の答辭、堀田法務局長代理並に[illegible]方面の祝辭等あり[illegible]事項に就し保護委員その他より種々な答申が行はれ引續き各市郡保護[illegible]事項二十二項を協議して[illegible]の間機關[illegible]者の保護事業に關する古山檢察官長の講演あり最後に司法保護[illegible]を設置し午後五時多大の成果を收めて散會した

【臺南電話】古山高等法院檢察官長は二十八日午後四時十八分着[illegible]に終了した

海山國民學校の小國民體育大會
海山郡

[illegible]國民學校では去る二十八日午前十時より同校運動場に於て熊谷海山郡守始め山本保護者會長、[illegible]各位、[illegible]部下各[illegible]長及び部下有志多數臨席の下に小國民體育大會を開催、先づ國民行事[illegible]に引續き川崎校長の開會の辭に次で[illegible]に入り當日は秋晴に惠まれもせず[illegible]一般父兄及[illegible]者見物[illegible]午後三時過ぎ盛況裡に終了した

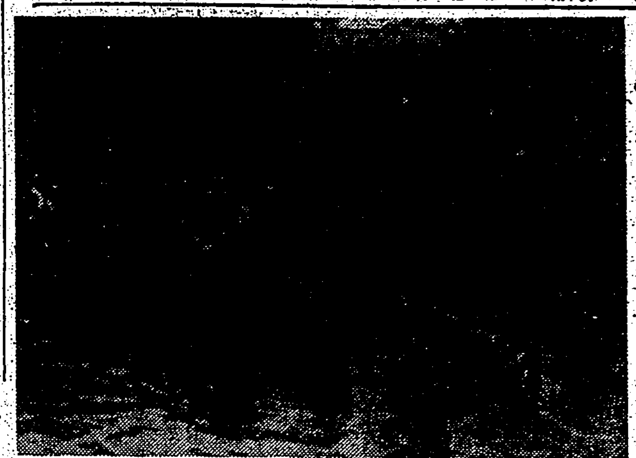
花蓮港廳協任期滿了
あす・後任者發令

【花蓮港電話】花蓮港廳協議會員は本月三十日を以て任期滿了となるので廳當局では先般來後任者を銓衡、總督府に申請する所あつたが定員十五名の內五、六名は新顏の任命を見る模樣で十月一日附を以て發令される

[illegible]の他[illegible]、各種靑少年團、男女靑年團員その他[illegible]多數あり元氣溢れる訓練を行ひ[illegible]試合、熱行官講話あつて終了した[illegible]二十九日は午前五時から各種訓練があり同十時好成績裡に終了した

北港郡國語競演會

北港郡第二十六回國語競演會は二十七日午前十時より北港國民學校講堂に於て[illegible]を始め郡下各[illegible]臨席の下に盛大に開催[illegible]



臺南州幹部錬成會における夜の行（二十八日臺南師範にて）

[illegible]列車で來南、二十九日臺南州下保[illegible]事業大會に臨み三十日午前九時十分發列車で臺北の豫定

[illegible]行事の後國民[illegible]所の[illegible]「[illegible]」の演題の下に講話を始め夫いこさモチヤの花見」等各出演者の演説、[illegible]の外各國民學校兒童の[illegible]等何れも熱心に演出大好評を博し午後五時盛會裡に終了した

[illegible]では三日午前十時から臺南神社で全市民參列祈願祭を執行致[illegible]軍人の武運長久を祈願する[illegible]の英靈を追悼し[illegible]の平癒並に出征軍人の武運長久を祈願するが又期間中を通じて[illegible]部落會に於て夫々[illegible]人[illegible]の[illegible]を行はしめ一方軍人遺家族の家庭に對し勤勞奉仕を行はしめ[illegible]を通じて銃後の[illegible]を期する事となつた

宜蘭市民に正しい時刻

【宜蘭電話】時の記念日以來實施されてゐる宜蘭市の時報サイレンは十月一日から朝の時間を三十分繰下げ六時三十分に吹鳴する事となつたので市民は六時半起床正午晝食午後七時夜食十時就寢を勵行し之によつて時間の觀念が是正されずには居られない譯である

嘉義市の水上競技大會

【嘉義電話】[illegible]嘉義支部主催第九回水上競技大會は二十八日嘉義高女[illegible]泳池に於て開催、午前九時半各選手整列して國民儀禮、優勝旗返還、會長中松市長挨拶、選手宣誓、神田[illegible]長競技開始宣言の後競技開始、當日の天候は豪天候風後晴れたるも白雲多く水溫午前十時二十八度、氣溫午前十時二十四度五八度八、午後一時二十九度の條件の下に各競泳とも好記録を残し優勝旗は男子A組第八百米タイム二分五六秒八で嘉義中學Aチーム、女子A組繼泳二百米タイム二分四四秒八で嘉義高女Aチームに授與され午後三時十八分終了閉會した

高雄州定期昇給

【高雄電話】高雄州では三十日附を以て土木技師曾我幸夫氏以下七百八十六名に對する定期昇給を發令した

[illegible]【[illegible]】二十九日澎湖地方は猛烈な季節風が吹き荒ぐりそのため定期船[illegible]山丸は缺航した

產米增殖の品評會

【屏東電話】屏東郡では三十日午前十時より郡會議室に於て第四回郡米穀增殖共同苗代[illegible]會兼共進評會を開催[illegible]表彰式を舉行また午後一時から屏東郡米穀增殖組合創立總會を開催する

頭分街で協議會

【新竹電話】竹南郡頭分街では十月一日の本島各街臨時協議會員をとし午前九時から街公會堂において街勢振興に關する諮問、衞生、土木、交通、產業、教育等の議案件につき協議會を開催する

人事

△小柳[illegible]氏（宜蘭郡守）臺北帝大附屬病院に入院加療中

蓖麻栽培を積極化
嘉義郡 總ゆる休閑地を利用

【嘉義電話】嘉義郡では時局下益々重要性を增大しつつある蓖麻の栽培奨勵に積極的に乘出す事となり現在の栽培面積約三百甲歩を一躍八百甲歩に引きあげ蓖麻報國の實をあぐべく意氣込んでゐるがその植付面積割當は大體左の通りで近日中に種子の配布を行ふ事になつてゐる

宅地空閑地利用　約三百甲步
田畑間地利用　約二百五十甲步
[illegible]　約二百甲步
[illegible]地利用　約五十甲步

學藝演習會【斗六電話】

斗六國民學校では二十八日午後一時より同校講堂に於て與亞小國民學藝會を開催、[illegible]、[illegible]、鄉野、郡守、[illegible]二十八番の演習あり滿部部守、[illegible]父兄來賓多數の觀覽者あつて盛會を極めた

銃後奉公強化
臺南市民に呼掛く

【臺南電話】來る十月三日から五日間全國的に展開される銃後奉公強化の國民運動に呼應して臺南市[illegible]

黍みのる秋

甘蔗耕種改善週間を顧みて（臺南支社）
適地蔗苗の選擇に
（中）未だ研究の餘地あり

天候と品種は增產の大きな要素であるが、"收穫は地力、地力は勞力"と諺にもある通り、土を生命とする農作物の集約化に地力の培養は何を措いても必要な、そのためには深耕と堆肥の增施が必要だが、更に勞力を惜まぬことが自然[illegible]施肥の增施を解決する、甘蔗は[illegible]多くの養分を要求するから[illegible]

[illegible]

斗六、新營三郡下大日本、明治、鹽水港各製糖會社の採取區域を踏察して新植蔗栽培にあてはまつた蔗苗のいたる處に見て心强く感じた、また規格に從つて整然と植付された集團蔗園の目立つて增えたことなども認付にたる[illegible]蔗園の熱意が[illegible]へて頼母しい[illegible]耕種法の大勢を決めた[illegible]

[illegible]格通りに整地したものと、さうでないものとを調査比較した結果、前者は甲當十六萬斤後者は十二萬斤の收量を豫想されるに至つた、[illegible]

整地が收量

の上に四萬斤の差を生んだ譯である、また斗六郡員林庄[illegible]の[illegible]火生氏の蔗園（一甲步）は草一本[illegible]

[illegible]行つてをり、手入れのよさは見

[illegible]

畑二萬五千斤、圃合肥料三百五十叺、九月十八日（觀察當時）の蔗長は一丈二三尺（收穫までにはまだ二、三尺伸びる）一株當りの分蘖三・二本、甲當り株數は六萬六千本、一株七斤、四十七萬斤の收量を豫想されてゐる、ここでもまた山崎育種村長が強

[illegible]調した

收穫は地力

地力は勞力とその努力がはつきりものを云つてゐる譯である

このほか耕作態度として知られる人たちは何れも不言實行のうちに耕種改善を行ひ甲當二十萬斤前後を樂に收穫してゐる、即ち

△臺灣成氏（新化郡玉井）かつて七十八萬斤（もつとも面積は三分あつたが）をあげ、臺灣に於ける多收穫のレコード・ホルダーであるが、いままた三十甲步の蔗園から甲當三十萬斤をあげるべく張切つてゐる

△[illegible]成氏（新營郡東[illegible]）嘉[illegible]採取區域內の競作會に三年續けて優勝、これまた多收穫のチャンピオンだ、彼の十六、七年期蔗園は五十萬斤の收穫を豫想されてゐる、このほか耕作篤農家として△謝[illegible]氏（新營街）△[illegible]氏（曾文郡大內庄頭社）らの名があげられる

× × ×

六割ぐらゐ

であつたが今年は百パーセントに近い成績をあげてゐる、早植も栽培面積と架[illegible]期を[illegible]でには完了するだらう、[illegible]も十月中[illegible]及び[illegible]よく勵行されてゐるが、今一[illegible]といふところ、耕種の[illegible]率が百パーセント[illegible]

したことは頼しいが、土地に適した蔗苗の選擇にはまだ研究の餘地があるやうだが、研究所の蔗苗は何といつても重要作物の甘蔗を要求する時局の重大性が大きな推進力となり、いままでに見ぬ成果を收め得たものと思ふ――これは伊藤新營郡長の感想談である

末曾有の増產であつた十三、四年期においてさへも甲當り十萬斤から六萬斤の收益しかあげ得ぬものが耕作面積の一割九分五厘もあり、また五萬斤以下の蔗作二分四厘あつた、かういつた不良地域を一掃して州下の平均甲當收量を年額五ケ年計畫で十六萬五千斤まで引上げるためには

耕種改善は

形だけのものでは駄目だ、根本は規格では[illegible]なくやはり耕作の問題である[illegible]

[illegible]

歌はぬ勝利(9)
山中峯太郎作
高木清畫

父性愛（二）

木立の深い近衞師團の外がはを臨と公子は、暗い坂路へ下りて來た。向ふが窪地になつてゐる。兩側とも長い生垣がつづき、さかんに降りしきる雨の音に、どこの邸の庭さきもつつまれて、木の多い邸の窪地一帶が、しと／＼と濡りながら靜まりかへつてゐる。いかにも秋雨らしい。一方の生垣の中から、雨の音をゆさぶるやうな響きが、庭木をとほして突然と聞えてきた。琴の音だつた。

ふと耳をすました臨が、番傘をかたむけて、ゆつくりと歩きだすと、

「オイ、公子、いい音だナ」

ひどく感心したらしく、眉をあげてつぶやくのを、公子は、すぐ彈きかへして云つた。

「下手だわよ。まだ初歩よ」

「うゝん、下手でも好い音だ。何といふ曲か、敎へてくれ」

「千鳥だわ。男のくせに、お琴の曲なんか、知らなくていいわ」

「ははあ、琴の音は、日本的だぞ。千鳥か、あのキューンといふ音は琴の糸を、どうかするのか」

「知らないことよ」

公子は、ツンとしたきり、狹い坂道を右へまがつて行つた。雨にぬれてゐる若芽の香がかすかにする。あたりの窪地は、ずつと前に分譲してゐたのを、公子の父が一角を買ひとつたのである。「近衞文化村」と云つてゐたと、公子は小さい時に、兄の臨から聞かされたのを、今でもおぼえてゐる。「文化村なんて、意味がいやじやないか。何でもかでも文化と名をつけると、いいものらしく思つてるんだぜ」

そんなことを、臨が知つた振りして、なまいきに云つてゐた。その兄も、今は帝大の法學部に入つてゐる。兄と妹の自分と、子どもは二人だけの、父は「竹内機械工具製作所」といふ會社を、蒲田の新開地に經營してゐて、とても忙しいらしく、公子とは、ほとんど顏をあはせたことがない。母は三人の女中を使つて、朝から夜まで

れないのは、自分でも、ふしぎな氣もちである。今日も[illegible]で訪ねて來た自宅の方が、とても懷かしい氣がするのは、これも公子は、自分でもわけが解らない。何が一體家の中では満たされないのだらう[illegible]に[illegible]らない家、眠い[illegible]みたいな門並に、「竹内邸」と、古く黒ずんだ表札が掛けてある。表も[illegible]の塀にかくれてゐるのを、公子は、チラと見ながら、[illegible]にきへるやうに云つた。

「お兄さまが、あなたに會ひたがつてたわ」

カタリと敷石の上に、朴齒の音と共に立ちどまつた臨は、高く番傘をさしたままで、

「いや、おれは厭る」

「まア、どうして。では何しにここへ來たの」

家ぢうを、ペキ／＼と切りまはしてゐる。新しく雇ひ入れたタカといふのが、まだ十七、これは「避出し女中」と云はれてゐる。店の前に長い行列をつくつて、何時間も待つてゐないと、お臺所のものが買へない、每日、とても時間が掛かるし、この方を專門のタカが一日に何回となく出て行く。公子の自分は、そんな家の中のことなど手つだひもせず知らなくてもいい、「お嬢さま」なのだが、今も雨の中の坂路を下りて來て、家が近くなつてくると、臨にさへ反抗せずにはゐられない、いら／＼しさが、いつものやうに、こみあげてくるのは、

――あたし、やつぱり、我がままなのかしら。

と、思つてみるのだけれど、わけもなしに家の中の空氣が、ただむやみに氣にいらないのである。

――何かしら滿たされないものがあるやうだし、かと云つて、――

家の中では、滿たされない何ものかがある。このやりきれない不滿が、いつのまにか重なつてきて、お母さまにさへ反抗せずにはゐら

家庭染料
みやこ染
品質本位

貯蓄債券　報國債券
一枚　十圓・五圓
一億が債券買つて總進軍
大藏省
日本勸業銀行

菊池寛著
最新刊
天誅組罷通る
定價一圓五十錢　送料內地十錢
裝幀・插畫　木村莊八　B6判・三三四頁
維新史を飾る一頁劇に用ふことは、[illegible]の先驅者であり、時代の指導者であつた多くの人々が、中道にして非命に倒れてゐることである。明治維新完成に一大炬火を點じ、櫻の花の如く散つていつた天誅組の志士達もその一例である。[illegible]本書はその志士の烈々たる[illegible]、百年の後尙讀者を[illegible]
東京小石川・振替東京三九三〇
大日本雄辯會講談社版

理髮[illegible]
工業用ミシン[illegible]
廣東[illegible]
男女[illegible]
女事務員[illegible]
女事務員[illegible]
見習[illegible]
看護[illegible]
石堂[illegible]
女店員[illegible]
賣藥[illegible]
求貸[illegible]
讓店[illegible]
賣家[illegible]
電話[illegible]
矢野[illegible]
カメラ[illegible]
メガネ[illegible]
ラジオ[illegible]
婦人[illegible]
和洋レコード[illegible]
のせ[illegible]
皆樣[illegible]
丸本[illegible]
喘息[illegible]
梅肉エキス[illegible]
榮養[illegible]
文學[illegible]
醫師[illegible]
新古[illegible]
冷藏庫[illegible]
引越[illegible]
研刀[illegible]
町の[illegible]
シンガーミシン[illegible]
ネクタイ[illegible]
風呂[illegible]
新食[illegible]
ヤス[illegible]
玉突[illegible]
模型[illegible]
防彈[illegible]
金屬[illegible]
出張所、配給所、代理店[illegible]
社員六名採用ス[illegible]
東亞企業株式會社
支局長[illegible]
貸借對照表[illegible]
臺北ノート販賣株式會社

家庭の重寶藥
サロメチール
肩の凝り
ロイマチス
神經痛
純白のクリームで患部に擦り込むだけで痛み・凝りを速やかに解消するご家庭の重寶藥。
貼らずに擦り込む…
效き目が早いだけでなく、貼る手間も不快さもともなはず使用が至つて簡便で、ひとつあれば長く使へて德用です。
五十錢・一圓
東京　田邊商店

早老性衰弱
體に活力を
面白い―
土人の角療法
アフリカ土人の間に、角療法といふ[illegible]療法が行はれてゐる。
まづ[illegible]
瀉血[illegible]
動脈管が柔らぎ
精氣活氣が付く
[illegible]
新研究藥物
ネオネオギー
東京小石川區[illegible]
日本微生物研究所